

平成22年11月12日
総務省講堂

**第24回試験委員会及び
第20回普及促進方策検討委員会**

**防犯性能の高い建物部品の開発・
普及に関する官民合同会議**

会 議 次 第

1 協議事項

試験員名簿の作成について（警察庁）【資料1】

2 報告事項

(1) 普及促進方策の推進状況について（各省庁・各団体）

・普及促進方策の推進状況【資料2】

（平成21年、平成22年1月～10月までの実施状況及び22年11月以降の実施予定）

・普及促進方策集計一覧（19年～22年（予定含む）の実施状況）【資料3】

(2) 防犯性能の高い建物部品の出荷状況等について

・平成22年上期「防犯性能の高い建物部品の出荷量及び普及率調査表」【資料4】

（平成21年全体、21年上期及び22年上期）（5団体）

・CP面付本締錠出荷数の比較（日本ロック工業会）【資料5】

・BL部品認定証紙出荷数の比較（ベター・リビング）【資料6】

(3) 防犯性能の高い建物部品目録Webサイトアクセス状況について（全防連）【資料7】

3 検討事項

CP普及促進方策について

・CP部品目録データ等の改修（全防連Webサイト）【資料8】

・CP普及促進方策WGの活動状況（各SG）【資料9】

・CPを世間一般に広く普及促進するための新たな活動の展開に向けて【資料10】

（フリーディスカッション）

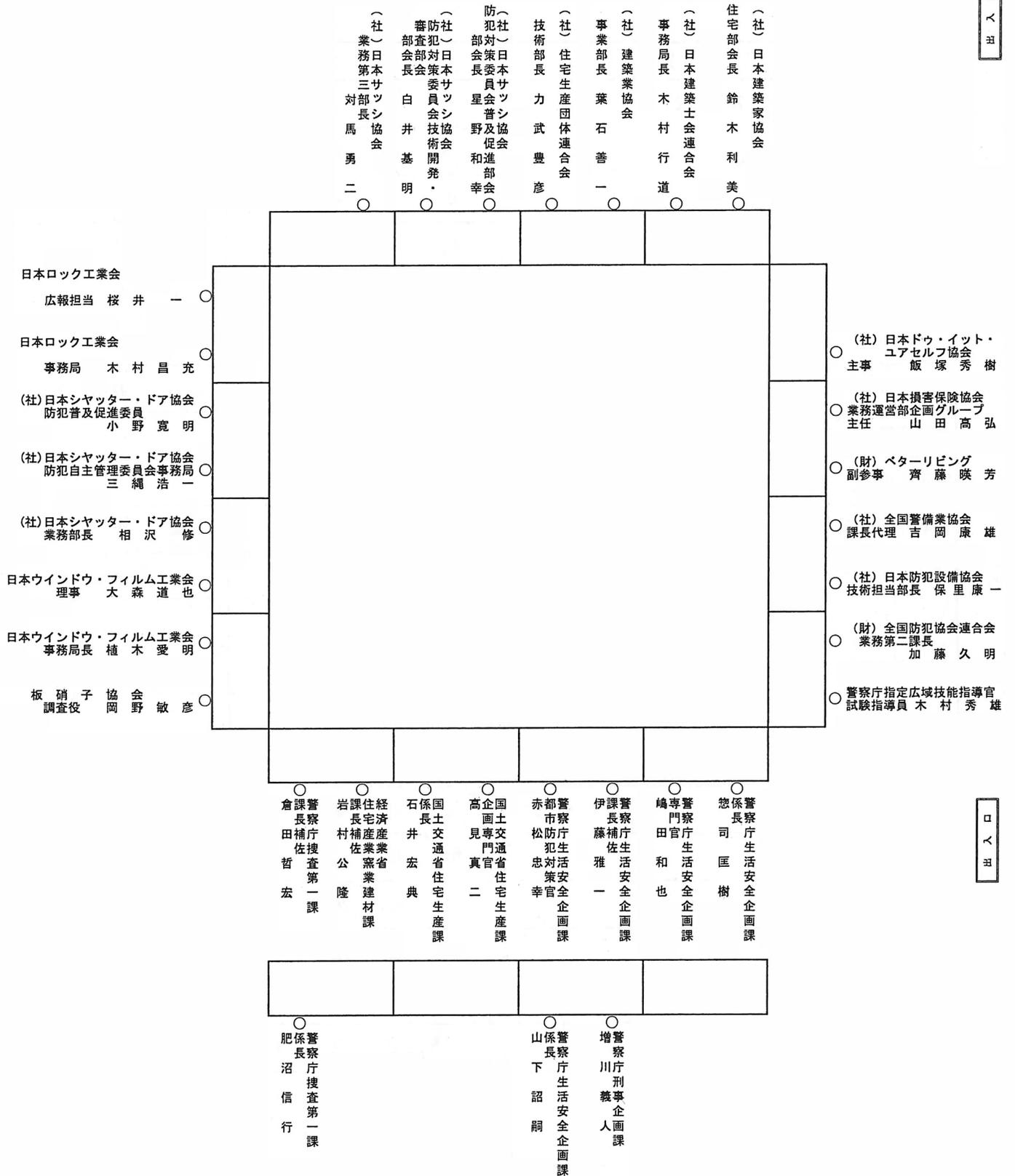
4 その他連絡事項

防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議
第24回試験委員会・第20回普及促進方策検討委員会 出席者名簿

平成22年11月12日(金)
総務省講堂

所 属		氏 名	氏 名
警察庁	生活安全企画課	赤 松 忠 幸	
		伊 藤 雅 一	惣 司 匡 樹
		嶋 田 和 也	山 下 詔 嗣
	刑事企画課	増 川 義 人	
	捜査第一課	倉 田 哲 宏	肥 沼 信 行
	警察庁指定広域技能指導官	木 村 秀 雄	
国土交通省	住宅生産課	高 見 真 二	石 井 宏 典
経済産業省	住宅産業窯業建材課	岩 村 公 隆	
板硝子協会		岡 野 敏 彦	
日本ウインドウ・フィルム工業会		大 森 道 也	植 木 愛 明
(社)日本シャッター・ドア協会		相 沢 修	三 縄 浩 一
		小 野 寛 明	
(社)日本サッシ協会		星 野 和 幸	対 馬 勇 二
		白 井 基 明	
(社)全国警備業協会		吉 岡 康 雄	
(社)日本防犯設備協会		保 里 康 一	
日本ロック工業会		桜 井 一	木 村 昌 充
(財)全国防犯協会連合会		加 藤 久 明	
(財)ベターリビング		齊 藤 映 芳	
(社)建築業協会		葉 石 善 一	
(社)住宅生産団体連合会		力 武 豊 彦	
(社)日本建築士会連合会		木 村 行 道	
(社)日本建築家協会		鈴 木 利 美	
(社)日本建築士事務所協会連合会		欠 席	
(社)日本損害保険協会		山 田 高 弘	
(社)日本DIY協会		飯 塚 秀 樹	

ロ
入
出



ロ
入
出

平成22年11月12日
官民合同会議事務局

平成22年における試験員名簿の作成について

「建物部品の防犯性能の試験に関する規則」第3条及び「試験員の基準に関する細則」第4条、第5条に基づき、一般試験員及び特殊技能試験員の基準を満たす者を選定するために、次のとおり体力測定及び講習会を実施し、新たに試験員の名簿を作成した。

1 体力測定

(1) 日時

平成22年9月27日(月) 午後1時から4時まで

(2) 場所

警察大学校 術科棟3階体育館

(3) 測定者

一般試験員 74名(欠席者3名)

(4) 測定結果

一般試験員の基準を満たした者は73名であった。(1名基準外)
別紙に一般試験員の年齢構成等を示す。

2 講習会

(1) 日時

平成22年9月28日(火) 午前9時45分から午後4時まで

(2) 場所

中央合同庁舎2号館地下2階 講堂

(3) 受講者

82名(欠席者11名)

内訳 一般試験員 62名(欠席者8名)

一般試験員と特殊技能試験員との兼任 6名(欠席者1名)

特殊技能試験員 14名(欠席者2名)

3 体力測定及び講習会の欠席者

(1) 体力測定の実施

欠席者3名すべてが辞退した。

(2) 講習会ビデオの視聴

平成22年9月28日(火)に実施した講習会ビデオの視聴
ア (財)ベターリビング

- ・日 時：平成22年10月19日(火) 午後3時から午後8時まで
- ・場 所：(財)ベターリビング筑波建築試験研究センター会議室
- ・受講者：一般試験員1名

イ (社)日本サッシ協会

- ・日 時：平成22年10月12日(火) 午前9時から午後3時まで
- ・場 所：不二サッシ(株)試験研究センター2階会議室
- ・受講者：一般試験員3名

ウ 日本ロック工業会

- ・日 時：①平成22年10月20日(水) 午前10時30分から午後6時まで
②平成22年10月21日(木) 午後3時から午後5時まで
③平成22年10月25日(月) 午前12時30分から午後4時まで
④平成22年11月4日(木) 午後1時から午後4時まで
- ・場 所：①、②美和ロック(株)玉城工場
③(株)長嶋金物店事務室
④日本カバ(株)本社
- ・受講者：一般試験員1名、一般試験員と特殊技能試験員との兼任者1名
及び特殊技能試験員2名

4 試験員数

(1) 一般試験員：73名

(内訳)

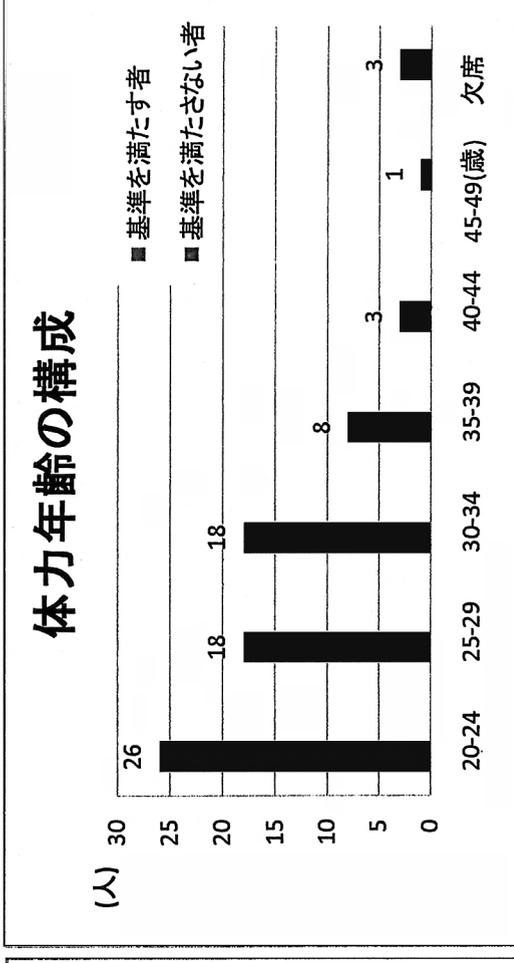
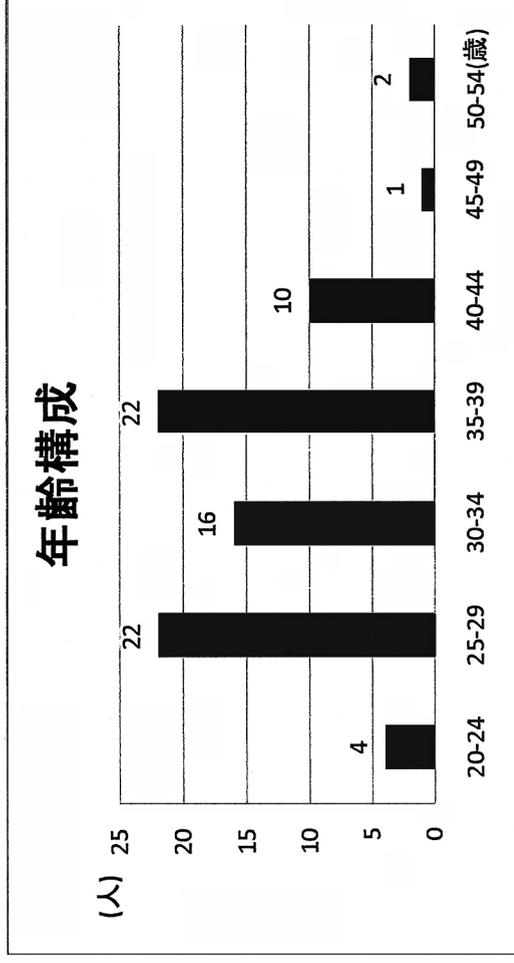
- ・ドアB種：26名
- ・錠(一般)：28名(内7名、特殊技能試験員兼任者を含む。)
- ・建具：17名
- ・ガラス：9名
- ・ウインドウフィルム：6名
- ・窓シャッター：22名
- ・重量シャッター：19名
- ・軽量シャッター：19名
- ・オーバーヘッドドア：18名
- ・シャッター用スイッチボックス：19名

(2) 特殊技能試験員：23名(内7名、一般試験員兼任者を含む。)

5 試験員名簿(案)

別添資料のとおり。

○一般試験員の年齢構成及び体力年齢の構成



年齢	人数	体力年齢							
		20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	欠席	
20-24	4								
25-29	22	11	4	3	2	2			
30-34	16	5	5	2	2	1		1	
35-39	22	3	6	9	2			2	
40-44	10	2	3	3	1		1		
45-49	1	1							
50-54(歳)	2			1	1				
計	77	26	18	18	8	3	1	3	
平均	33.8歳	73						4	

○一般試験員の年齢構成等の推移

項目	平成20年	平成21年	平成22年	備考
体力測定受験申請者数	85	83	77	
基準外及び欠席者数	7(5)	1(7)	1(3)	()内は外数で欠席者数
一般試験員数	73	75	73	
平均年齢	34.3	34.0	33.5	
平均得点	43.2	44.0	44.5	60点満点(基準36点以上)
平均体力年齢	25~29歳	25~29歳	25~29歳	43~45点

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	警察庁
----------	-----

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	警察庁ホームページへの掲載
期間	（現在継続中）
具体的内容・効果	警察庁の侵入犯罪対策ホームページの「住まいる（スマイル）防犯110番」は、 ○侵入犯罪の脅威 ○警察おける侵入犯罪予防対策 ○我が家の防犯診断 を掲載し、住宅等の建物に侵入して行われる犯罪（侵入犯罪）を取り上げ、その現状と対策等を紹介している。 侵入犯罪予防対策では、「防犯建物部品」として官民合同会議が開発・普及するCP部品を紹介し、CP部品の認知度向上等に資する内容としている。
名称	警察大学校専科（建物防犯に関する知識・技能）の実施
期間	平成21年1月
具体的内容・効果	各都道府県警察において、生活安全警察又は刑事警察部門に従事する幹部職員等に、侵入犯罪抑止対策等に必要な建物錠等に関する高度な知識及び技能を修得させることにより、今後の都道府県警察における建物防犯に関する諸対策の推進に資することを目的に実施した。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	警察庁ホームページへの掲載
期間	（継続実施）
具体的内容・効果	警察庁ホームページへの掲載を引き続き継続するとともに、適宜掲載内容を更新し、最新の情報等を提供する。
名称	警察大学校専科（建物防犯に関する知識・技能）の実施
期間	平成23年1月
具体的内容・効果	各都道府県警察において、生活安全警察又は刑事警察部門に従事する幹部職員等に、侵入犯罪抑止対策等に必要な建物錠等に関する高度な知識及び技能を修得させることにより、今後の都道府県警察における建物防犯に関する諸対策の推進に資することを目的に実施する。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	国土交通省
----------	-------

1 平成21年及び平成22年1月～9月に実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	住宅性能表示制度（防犯性能）の普及促進
期間	平成21年及び平成22年1月～9月
具体的内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月に追加した「防犯に関すること」について、住宅性能表示制度とともに侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部の評価・表示の普及促進を図った。 ・併せて、広報活動として建築・防犯関係団体に対する講習会や雑誌媒体等における紹介を実施。

2 平成22年10月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	住宅性能表示制度（防犯性能）の普及促進
期間	平成22年10月以降
具体的内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月に追加した「防犯に関すること」について、住宅性能表示制度とともに侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部の評価・表示の普及促進を図る予定。 ・併せて、広報活動として建築・防犯関係団体に対する講習会や雑誌媒体等における紹介を実施する予定。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	5団体防犯建物部品普及促進協議会
----------	------------------

1 平成21年及び平成22年1月～10月に実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	5団体防犯建物部品普及促進協議会の開催
期間	平成22年1月～平成22年10月
具体的内容・効果	○5団体防犯建物部品普及促進協議会を10回開催し、CP部品普及方策を検討し各団体への資料情報提供を実施した。 ・展示会、講習会の企画、実施 ・CPパンフレットの活用検討 ・5団体防犯性能試験DVD活用検討 CP普及促進方策WG提案
名称	神奈川県庁常設展示場への展示協賛（安全・安心まちづくりセンター）
期間	平成16年6月～平成22年10月（継続中）
具体的内容・効果	防犯建物部品（ドアA種、ドアB種、面格子付きサッシ、電動軽量シャッター、鍵セット、防犯ガラス、防犯フィルム、防犯建物部品説明パネル）を提供展示。 5団体CPパンフレット常備、防犯性能DVDを放映。 神奈川県民及び近隣県のユーザーへ神奈川県と協力し防犯建物部品情報を提供を行っている。
名称	SECURITY SHOW 2010への出展（東京ビックサイト）
期間	平成22年3月9日～12日（4日間）入場者数 70,516人
具体的内容・効果	防犯建物部品パネル、鍵セットなどの展示。 5団体CPパンフレット配布、5団体防犯DVDを放映。 首都圏ユーザーへの防犯建物部品の情報提供を行った。
名称	第4回地域防災防犯展 大阪出展（インテック大阪） 入場者5,733人
期間	平成22年6月10、11日（2日間）
具体的内容・効果	防犯建物部品パネル、鍵セットなどの展示。 5団体CPパンフレット配布、5団体防犯DVDを放映。 10、11日の両日にCP（防犯建物部品）でわが家の防犯をテーマに講演を実施。 近畿圏ユーザーへの防犯建物部品の情報提供を行った。
名称	防犯パンフレット「防犯建物部品のおすすめ」の製作・活用
期間	平成19年12月～平成22年10月（継続中） 7万部
具体的内容・効果	一般消費者向けPR用パンフレットを製作し、5団体の傘下企業、常設展示場、展示会などでの普及活動の中で活用を図っている。
名称	DVD防犯建物部品のおすすめ（CPでわが家の防犯）2009年版の製作活用
期間	平成21年4月～平成22年10月（継続中）
具体的内容・効果	ドア・サッシ、シャッター、錠、ガラス、ウインドウフィルムの防犯性能試験の映像を纏めたDVDを1,200枚製作し、5団体の傘下企業、常設展示場、展示会などでの普及活動の中で活用を図っている。各都道府県の安全・安心のまちづくり窓口、各県警、東京・大阪の各市町村窓口への配布

名称	防犯性能の高い建物部品データベース（DB）による情報提供（16年度より継続）財団法人ベターリビングと共同
期間	平成22年1月～平成22年10月（継続中）
具体的内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者、事業者等に対する防犯意識の啓発とCP製品の普及を目的に、官民防犯目録と連動した製品データベース（DB）による情報提供をインターネットで実施。 ・目録掲載製品の特徴、仕様、写真についてデータベース化を実施。 ・詳細情報は、企業ホームページにリンクすることで対応。 ・国土交通省、警察庁、全国防犯協会連合会と連携し推進。
名称	JAPAN DIY HOMECENTER SHOW に出展（幕張メッセ）
期間	平成22年8月26日～28日（3日間） 入場者数79,824人
具体的内容・効果	<p>防犯建物部品パネル、鍵セットなどの展示。 シャッター展示。 ガラス破壊実験の実施。</p> <p>5団体CPパンフレット配布、5団体防犯DVDを放映。</p> <p>首都圏ユーザーへの防犯建物部品の情報提供を行った。</p>

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	5団体防犯建物部品普及促進協議会の開催
期間	平成22年11月～（継続）
具体的内容・効果	<p>○5団体防犯建物部品普及促進協議会を1回/月開催しCP部品普及方策を検討し各団体への資料情報提供を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会、講習会の企画、実施 ・5団体防犯性能試験DVD活用検討 CP普及促進方策WG提案
名称	神奈川県庁常設展示場への展示協賛（安全・安心まちづくりセンター）
期間	平成16年6月～（継続中）
具体的内容・効果	<p>防犯建物部品（ドアA種、ドアB種、面格子付きサッシ、電動軽量シャッター、鍵セット、防犯ガラス、防犯フィルム、防犯建物部品説明パネル）を提供展示。</p> <p>5団体CPパンフレット常備、防犯性能DVDを放映。</p> <p>神奈川県民及び近隣県のユーザーへ神奈川県と協力し防犯建物部品情報を提供を行っている。平成22年11月1日（群馬県伊勢崎市の自主防犯活動団体の県庁視察120名）5団体で説明の対応</p>
名称	第5回地域防災防犯展 大阪出展（インテック大阪）
期間	平成23年6月予定
具体的内容・効果	<p>防犯建物部品パネル、鍵セットなどの展示。</p> <p>5団体CPパンフレット配布、5団体防犯DVDを放映。</p> <p>近畿圏ユーザーへの防犯建物部品の情報提供を行う。</p>
名称	SECURITY SHOW 2011への出展（東京ビックサイト）
期間	平成23年3月予定
具体的内容・効果	<p>防犯建物部品パネル、鍵セットなどの展示。</p> <p>5団体CPパンフレット配布、5団体防犯DVDを放映。</p> <p>首都圏ユーザーへの防犯建物部品の情報提供を行う。</p>

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	板硝子協会
----------	-------

1 平成21年及び平成22年1月～10月に実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	県警察学校防犯専科講師
期間	H21年1月～H22年10月
具体的内容・効果	各県警の防犯専科に講師として参加（栃木、神奈川、福井、新潟） 新任の刑事に対して防犯ガラスの性能および破碎実験を行う。
名称	展示会出展
期間	10月30日～31日
具体的内容・効果	埼玉の地域のイベントに地元の硝子組合とともに参加し一般の方々へ防犯硝子のPR活動を実施した。

2 平成22年11月以降に実施中（予定）又は実施すべき普及方策

名称	県警察学校防犯専科講師
期間	H20年10月～
具体的内容・効果	各県警の防犯専科に講師として参加（栃木、新潟、愛知） 新任の刑事に対して防犯ガラスの性能および破碎実験を行う。
名称	展示会出展
期間	H22年11月
具体的内容・効果	日経住まいのリフォーム展に出展し防犯硝子のPR活動を実施

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	日本ウインドウ・フィルム工業会
----------	-----------------

1 平成21年及び平成22年1月～10月に実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	防犯フィルム施工技能者 資格者育成のための講習会
期間	平成22年5月24日～6月8日
具体的内容・効果	防犯フィルム施工技能者 116名（大阪、神奈川、）の2箇所で開催。誕生。総合計 726名（全国集計）

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	施工業者（フィルム専門業者、ガラス関連業者、内装関連業者）への推進
期間	平成22年11月以降
具体的内容・効果	防犯用ウインドウフィルムの普及と認知度を高めていく。
名称	日本ウインドウ・フィルム工業会賛助団体への勉強会
期間	平成22年11月以降
具体的内容・効果	賛助団体（日本ガラスフィルム工事業協会145社～全国8支部）普及促進活動を実施。
名称	防犯フィルム施工技能者の資格認定・育成のための講習会
期間	平成23年4月～9月
具体的内容・効果	防犯フィルム施工技能者の増員を図る。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	社団法人 日本シャッター・ドア協会
----------	-------------------

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	会員各社の防犯建物部品ホームページの防犯表示の見直し
期間	平成21年10月～平成22年10月（継続）
具体的内容・効果	防犯建物部品登録の会員各社ホームページにおける防犯表示見直しを実施。目録からのリンク時に防犯建物部品の項目表示が分かりやすいように依頼。
名称	防犯建物部品目録・表示方法の改善
期間	平成22年4月～平成22年9月
具体的内容・効果	警察庁からの要請と全防連の協力により、防犯建物部品目録・表示方法（商品名・品目解説）の改善。
名称	防犯設備士講習テキストへの協力
期間	平成22年2月～平成22年7月
具体的内容・効果	日本防犯設備協会の防犯設備士講習テキストへの建物部品記載記事を協力 →ドアB種、シャッター、オーバードア、窓シャッター。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	協会及び会員各社の防犯建物部品ホームページの防犯表示の見直し
期間	平成22年10月～（継続）
具体的内容・効果	防犯建物部品登録の会員各社ホームページにおける防犯表示見直しを実施。目録からのリンク時に防犯建物部品の項目表示が分かりやすいように依頼。
名称	防犯カタログ、パンフレットの改訂版作成
期間	平成22年10月～
具体的内容・効果	当協会の関連協会、各種防犯等展示会配布用として、当協会作成のカタログ、パンフレットを作成。
名称	生産部品団体SG（5団体普及促進協議会）への参加（協力）
期間	平成22年10月～（継続）
具体的内容・効果	生産部品団体SG（5団体普及促進協議会）への参加（協力）する。
名称	警察庁防犯実務専科への協力
期間	平成23年1月
具体的内容・効果	都道府県警察官（30名）を対象とする防犯建物部品（シャッター、ドア）に関する教養専科へ講師派遣。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	(社)日本サッシ協会(1/4)
1 平成21年及び平成22年1月～3月に実施した普及方策(現在継続中のものを含む。)	
名称	(社)日本サッシ協会内の防犯活動組織
期間	平成21年1月～(平成16年～継続中)
具体的内容・効果	協会内「防犯対策委員会」の技術開発審査部会と普及促進部会を軸として、更なる商品開発と普及促進に関する活動を継続強化に取り組んだ。(各部会毎月定例会議を開催)
名称	会員企業での外部セミナー、講習会等への協力
期間	平成21年1月
具体的内容・効果	大阪府警からの要請でトステムショールーム大阪にて「防犯説明会」を開催した。警部補及び巡査部長18名を対象に、防犯対策に必要な、専門知識・技術の習得を目的とし、「防犯実務専科教養」の一貫として行なわれた。
名称	防犯建物部品の商品拡大
期間	平成21年1月～
具体的内容・効果	第11次、第12次通則仕様申請を及び第3回個別試験を実施した、建具の目録掲載数は平成20年末2,706品目から平成21年9月末で2,802品目となり96品目増加した。第13次通則仕様申請募集を12月締め切りで実施した。
名称	住宅サッシ・住宅防火戸取扱い事業所向けの講習会における普及啓蒙活動
期間	平成20年10月～21年3月(平成19年～継続中)
具体的内容・効果	(社)日本サッシ協会の住宅サッシ取扱い事業所(約5,000店)、(社)カーテンウォール・防火開口部協会の住宅防火戸取扱い事業所(約4,000店)を対象に、防犯性能試験DVDなどを活用しCP制度全体の知識向上と普及啓蒙を行なった。
名称	エンドユーザー向け、「窓とドア」の防犯対策パンフレット作成と活用
期間	平成21年4月～
具体的内容・効果	エンドユーザー向けに、CP制度認知度向上と普及促進を目的とした「窓とドア」の防犯対策パンフレット3万部を新たに作成し、住宅展示場、サッシメーカーショールーム、展示会などで活用している。
名称	全国ブロック会議を活用した防犯普及活動
期間	平成21年4月～5月(平成19年～継続中)
具体的内容・効果	北海道、東北、関東、首都圏、東海、北陸、関西、中国、四国、九州の10ブロックで業界大手5社の支店営業所の責任者170名を対象に、防犯建物部品の地域毎の普及実態などを説明し、今後の普及促進方策(パンフレット配布等)を協議した。
名称	警視庁防犯実務専科への協力
期間	平成21年5月13日(平成17年～継続中)
具体的内容・効果	警視庁管内30名の警察官を対象に行なわれた、窓とドアの性能確認体験用の供試体製作協力及び講習会への講師派遣を実施した。
名称	住宅サッシ・防火戸取扱い事業所向け会報(1号)の活用
期間	平成21年6月
具体的内容・効果	取扱い事業者へのCP部品の普及啓蒙を目的に、会報「窓快」のなかで、「窓とドア」の防犯対策パンフレット及び防犯建物部品(CP商品)の普及状況などを紹介した。発行部数1万5千部。
名称	協会ホームページへの「防犯性能の高い建物部品」商品紹介のページ開設
期間	平成21年6月～
具体的内容・効果	エンドユーザーや会員企業向けに、(社)日本サッシ協会会員企業が保有する「防犯性能の高い建物部品」の商品紹介するページを新たに開設した。
名称	防犯性能の高い建物部品使用状況調査の実施
期間	平成21年8月～9月(平成19年～継続中)
具体的内容・効果	CP部品の普及状況把握を目的に平成19年度から実施している、全国の戸建住宅と共同住宅約6000戸を対象としたCP建物部品の地域別、工法別取付率の調査を実施し、12月に纏め会員企業へ広報した。

省庁名又は団体名	(社)日本サッシ協会(2/4)
名称	ホームページの改善
期間	平成21年9月～
具体的内容・効果	住宅サッシメーカー5社のホームページ改善を行い、全防連の「防犯性能の高い建物部品」目録検索システムの連絡先アドレスからの防犯建物部品が検索し易いように改善した。
名称	住宅展示場へのPR活動
期間	平成21年10月～
具体的内容・効果	住宅展示場企画会社のサンフジ企画の協力を得て、東京、神奈川の32住宅展示場へ「窓とドア」の防犯対策パンフレットを配備しエンドユーザーへのCP商品の認知度向上を図った、今後セミナーなどへの参画を予定している。
名称	全国ブロック会議を活用した防犯普及活動
期間	平成21年10月～11月
具体的内容・効果	北海道、東北、関東、首都圏、東海、北陸、関西、中国、四国、九州の10ブロックで業界大手5社の支店営業所の責任者170名を対象に、防犯建物部品の地域毎の普及実態などを説明し、今後の普及促進方策を協議した。
名称	協会ホームページにおけるCP制度の紹介ページ作成
期間	平成21年11月～
具体的内容・効果	エンドユーザ向けに、「CPマーク」製品のご紹介(防犯性能の高い建物部品)のタイトルで、CP制度、防犯対策のポイント、対象商品の紹介などを行なうページを作成し公開した。
名称	住宅サッシ・住宅防火戸取扱い事業所向けの講習会における普及啓蒙活動
期間	平成22年2月～(平成19年～継続中)
具体的内容・効果	(社)日本サッシ協会と(社)カーテンウォール・防火開口部協会の住宅サッシ・防火戸取扱い事業所の新規事業所と受講者不在事業所を対象に、東京・大阪で定期講習会を開催し(参加者90名)、その席で、CP制度全体の知識向上と普及啓蒙を行なった。

省庁名又は団体名	(社) 日本サッシ協会(3/4)
2 平成22年4月～10月に実施した普及方策(現在継続中のものを含む。)	
名称	(社) 日本サッシ協会内の防犯活動組織
期間	平成22年4月～(平成16年～継続中)
具体的内容・効果	協会内「防犯対策委員会」の技術開発審査部会と普及促進部会を軸として、更なる商品開発と普及促進に関する活動を継続強化に取り組んでいる。(各部会毎月定例会議を開催)
名称	エンドユーザー向け、「窓とドア」の防犯対策パンフレットの活用
期間	平成22年4月～(平成21年～継続中)
具体的内容・効果	エンドユーザー向けに、CP制度認知度向上と普及促進を目的とした「窓とドア」の防犯対策パンフレットを、住宅展示場、サッシメーカーショールーム、展示会などで活用している。
名称	防犯建物部品の商品拡大
期間	平成22年4月～
具体的内容・効果	第4回個別試験を7月6日実施、第14次通則仕様申請9月に試験委員会申請合格、9月末の目録掲載数は2746品目。第15次通則仕様申請受付を12月締め切りで実施予定。
名称	全国ブロック会議を活用した防犯普及活動
期間	平成22年4月～5月
具体的内容・効果	北海道、東北、関東、首都圏、東海、北陸、関西、中国、四国、九州の10ブロックで業界大手5社の支店営業所の責任者170名を対象に、防犯建物部品の地域毎の普及実態などを説明し、今後の普及促進方策を協議した。
名称	警視庁防犯実務専科への協力
期間	平成22年4月22日(平成17年～継続中)
具体的内容・効果	警視庁管内の警察官約30名を対象に防犯性能の知識および窓とドア供試体による防犯性能体験試験を実施した。
名称	防犯設計ハンドブックの作成と活用
期間	平成22年6月
具体的内容・効果	建物設計者向けに、戸建て住宅の侵入盗被害事例を住宅の立地環境などに分類し、分類ごとに防犯環境プランニングの視点や対策をまとめた防犯設計のガイドとなる資料を作成し、(10000部)各所へ配布した。配布先は、(社)日本建築家協会、ビルダー設計者、プレハブメーカー設計者、防犯建物部品申請会社他。
名称	協会ホームページで防犯設計ハンドブックの抜粋版を紹介
期間	平成22年7月～
具体的内容・効果	7月より、日本サッシ協会のホームページに防犯設計ハンドブックの抜粋版を掲載し、普及啓蒙を図っている。
名称	住宅サッシ・防火戸取扱い事業者向け会報(2号)の活用
期間	平成22年6月
具体的内容・効果	取扱い事業者へのCP部品の普及啓蒙を目的に、会報「窓快」のなかで、防犯設計ハンドブック及び防犯建物部品(CP商品)の普及状況などを紹介した。発行部数1万5千部
名称	防犯性能の高い建物部品使用状況調査の実施予定
期間	平成22年8月～9月(平成19年～継続中)
具体的内容・効果	CP部品の普及状況把握を目的に平成19年度から実施している、全国の戸建住宅と共同住宅約6000戸を対象としたCP建物部品の地域別、工法別取付率の調査を実施し集計中。(集計結果は23年3月予定)
名称	全国ブロック会議を活用した防犯普及活動
期間	平成22年10月～11月
具体的内容・効果	北海道、東北、関東、首都圏、東海、北陸、関西、中国、四国、九州の10ブロックで業界大手5社の支店営業所の責任者170名を対象に、防犯建物部品の地域毎の普及実態などを説明し、今後の普及促進方策を協議する予定。

省庁名又は団体名	(社) 日本サッシ協会(4/4)
3 平成22年11月以降実施(予定)または実施すべき普及方策	
名称	ベース設計資料に防犯設計ハンドブック「窓とドアの防犯対策」を紹介
期間	平成22年12月
具体的内容・効果	建設工業調査会発行の「ベース設計資料12月号」に窓とドアの防犯対策-「防犯設計ハンドブック(戸建住宅編)」について-の原稿を寄稿し、防犯の普及啓蒙を行なう。
名称	住宅サッシ・住宅防火戸取扱い事業所向けの講習会における普及啓蒙活動
期間	平成23年2月～(平成19年～継続中)
具体的内容・効果	(社)日本サッシ協会と(社)カーテンウォール・防火開口部協会の住宅サッシ・防火戸取扱い事業所の新規事業所と受講者不在事業所を対象に、東京・大阪・仙台・名古屋・福岡で定期講習会を開催し、その席で、CP制度全体の知識向上と普及啓蒙を行なう予定。
名称	防犯設計ハンドブックアンケート実施
期間	平成23年2月
具体的内容・効果	平成22年6月発刊の防犯設計ハンドブックの活用状況を平成23年2月に首都圏、名古屋、大阪の設計者170名を対象にアンケートを実施予定。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	日本ロック工業会
----------	----------

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	CP普及促進WG
期間	現在継続中
具体的内容・効果	JLMAとJLにて合同会議（WG）を定期開催し、CP面付補助錠の普及促進策を模索している。
名称	「ロックの日」PR委員会
期間	現在継続中
具体的内容・効果	JLMAとJLでは「ロックの日」6月9日を「我が家の鍵を見直す日」として定着を図るためCP錠を中心にPRを行っている。
名称	「横浜市防犯展示会」への参加
期間	平成22年10月4日～8日
具体的内容・効果	CP普及促進パネル、パンフレット及びCP面付補助錠、電気錠等のサンプル見本の展示紹介。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	CP普及促進WG
期間	平成22年11月以降も継続予定
具体的内容・効果	JLMAとJLにて合同会議（WG）を定期開催し、CP面付補助錠の普及促進策を模索している。
名称	「ロックの日」PR委員会
期間	平成22年11月以降も継続予定
具体的内容・効果	JLMAとJLでは「ロックの日」6月9日を「我が家の鍵を見直す日」として定着を図るためCP錠を中心にPRを行っている。
名称	「横浜市防犯展示会」への参加
期間	平成23年度も計画
具体的内容・効果	CP普及促進パネル、パンフレット及びCP面付補助錠、電気錠等のサンプル見本の展示紹介。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	社団法人全国警備業協会
----------	-------------

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	警備員指導教育責任者講師講習会等の研修会で加盟員へ周知
期間	平成21年～平成22年10月
具体的内容・効果	警備員指導教育責任者講師講習会の機会を通じて加盟員への周知・広報を行った。また、新たに創設したセキュリティ・プランナー認定資格制度の講習教本において官民合同会議の取組みを取り上げるとともに、講義の中でCP製品の有用性を説明した。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	警備員指導教育責任者講師講習会等の研修会で加盟員へ周知
期間	平成22年11月～平成23年3月
具体的内容・効果	今後も、各種講習会の機会を通じて加盟員への周知・広報を行い、顧客に対するセキュリティの提案において、積極的にCP製品を活用するよう促していく。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	(財)ベターリビング・(財)全国防犯協会連合会・(社)日本防犯設備協会
----------	-------------------------------------

1 平成21年及び平成22年1月～10月に実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	防犯優良マンション認定制度の普及推進
期間	平成21年1月～平成22年10月
具体的内容・効果	<p>■具体的内容</p> <p>①全国公益法人（3団体）が共同で策定した防犯優良マンション認定事業支援要綱に基づく「防犯優良マンション認定制度」の実施地域では、昨今のマンション市場の低迷に伴い、審査を進めている段階で認定取得を断念する事業者等が多く制度の普及に苦慮している。その要因の一つに住戸開口部における防犯建物部品の採用がコストアップとなり、住宅市場価格に吸収できないとの声が多く寄せられている。そこで、制度の普及推進を図るため、標準認定基準（住戸開口部）についての基準の拡充についての検討を継続的に行っている。</p> <p>②防犯優良マンションの審査を効率化し審査期間の短縮化を図ることにより制度の普及を図るため、防犯カメラ、デジタルレコーダの性能について審査するにあたり、日本防犯設備協会の優良防犯機器認定制度に基づき認定された防犯機器（RBSS機器）」を公的機関の認証等により性能確認できるものとして位置付けられるよう、認定基準との整合性等の検討・整理を行った。</p> <p>■効果</p> <p>同制度の普及により防犯性の高い安全・安心な住宅の普及促進に寄与する。</p>

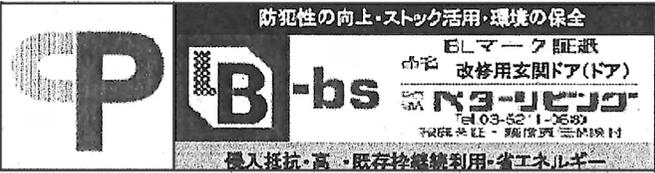
2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	防犯優良マンション認定制度の普及推進・実施地域の拡大
期間	平成22年11月以降（継続）
具体的内容・期待される効果	<p>■具体的内容</p> <p>①愛知県において、全国公益法人（3団体）が共同で策定した防犯優良マンション認定事業支援要綱に基づく「防犯優良マンション認定制度」として、全国初の認定証が年内に交付される予定。これに伴い、当該地域の認定機関と連携して記者発表を行い、更なる制度の普及推進を図っていく。</p> <p>②防犯優良マンション認定事業支援要綱に基づく「防犯優良マンション認定制度」の導入地域を拡大させるため、愛知、神奈川、埼玉以外の各都道府県の関係機関と継続して調整を図り導入に向けた支援を行っていく。 また、既に同制度が導入された地域（3県）に対しては、各県の登録認定機関と連携して同制度の普及推進を図っていく。</p> <p>③引き続き、標準認定基準における住戸開口部の基準拡充（補完措置による対策の付加等）について検討を行うなど、標準認定基準の改正又はその他の対応策を検討し制度の普及推進を図っていく。</p> <p>■期待される効果</p> <p>同制度が普及することにより防犯性の高い安全・安心な住宅の普及促進に寄与する。</p> <p>■課題・要望</p> <p>同制度の普及推進にあたっては、「防犯建物部品」の導入コストの低減及び普及が重要なキーポイントとなる。従って、防犯建物部品の採用による住宅総合保険（盗難保険）の保険料の割引や住宅ローンの金利優遇などのインセンティブ等の検討が不可欠である。</p>

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	(財)ベターリビング
----------	------------

1 平成21年及び平成22年1月～10月に実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	改修用玄関ドアの認定・評価基準制定
期間	平成21年12月
具体的内容・効果	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯ドアに防犯錠を必須構成部品とした改修用玄関ドア及び改修用玄関扉を認定。 ・非防犯ドアに防犯錠を必須構成部品とした改修用玄関ドア及び改修用玄関扉を認定。  <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストック住宅の防犯性向上。 ・BL認定の改修用玄関ドア及び改修用玄関扉を普及させることにより防犯建物部品を普及推進。
名称	改修用サッシの認定・評価基準制定
期間	平成21年12月
具体的内容・効果	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯サッシを付加認定基準とした改修用サッシを認定。  <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストック住宅の防犯性向上。 ・BL認定の改修用サッシを普及させることにより防犯建物部品を普及推進。
名称	認定企業による玄関ドア用錠前の非防犯錠認定取り下げ (日本ロック工業会と協同)
期間	平成21年4月
具体的内容・効果	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既認定玄関ドア用錠前の認定機種を防犯建物部品のみ整理。 <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BL認定の玄関ドアは錠前を防犯建物部品のみとして普及推進。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	防犯性能の高い建物部品データベースによる情報提供（平成16年より継続） 5団体（(社)日本サッシ協会、(社)日本シャッター・ドア協会、日本ロック工業会、 板硝子協会、日本ウインドウフィルム工業会）と協同
期間	平成22年度継続
具体的内容・効果	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民防犯目録と連動した製品情報データベースによる情報提供をBLホームページで更新。 ・製品情報は目録掲載製品の特長、仕様、写真とし、詳細情報は企業ホームページにリンクすることで対応。 <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新情報の公開により、消費者、事業者等に対する防犯意識の啓発と、防犯建物部品の普及推進。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	全国防犯協会連合会
----------	-----------

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	目録掲載HPの適切な運用及び各種広報活動の推進
期間	平成21年及び平成22年1月～10月
具体的内容・効果	<p>1 ホームページの適切な運用 「防犯性能の高い建物部品」HPの適切な運営に努めている。 警察庁の指導を受け、5団体と協力してHPの表記、及び便利性の向上を目指して見直しを進めている。 続いているアクセス数の減少傾向の歯止めとなることが期待される。</p> <p>2 防犯性能の高い建物部品に関するマスコミ等への取材協力、CPマークの使用相談等への対応と適切な掲載についての指導等を行っている。</p> <p>3 各種広報活動の推進 (1) 全国防犯協会連合会発行の冊子等により積極的な広報活動を行っている。 冊子 防犯ハンドブック（約5万部）、防犯手帳（約3万6千部）、 (2) 全国地域安全運動リーフレット（約50万部）、広報誌への記事掲載等（月刊、1万1千部）</p>

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	目録掲載HPの適切な運用及び各種広報活動の推進
期間	平成22年11月～平成23年3月
具体的内容・効果	前記の内容を継続推進する。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	社団法人日本防犯設備協会
----------	--------------

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	セキュリティガイド等でCP部品を紹介
期間	継続中
具体的内容・効果	関連団体、地域関連協会等の要請により配布し、地域における防犯講習会・セミナー等で活用頂き、CP関連の普及の一助としている。
名称	防犯設備士養成講習及び資格認定試験の実施
期間	継続中
具体的内容・効果	年4回実施する防犯設備士養成講習及び資格認定試験において、テキストに含み講習で講義教育するとともに、試験問題にも取り上げ、CP部品の理解と普及に努めている。また、資格を取得した防犯設備士は各地域の防犯アドバイザーとして各地域に於ける防犯講習会・セミナー等において、普及促進活動を支援している。
名称	書籍「防犯設備機器に関する統計調査」の発行
期間	継続中（平成22年2月発行済み、今年度は平成23年2月発行予定）
具体的内容・効果	4年前より、当協会の「防犯設備機器に関する統計調査」に、「官民合同会議 防犯性能の高い建物部品の開発・普及状況」という項目を設け、概要の紹介と登録数値を掲載している。購読層は協会会員、マスコミ、市場調査会社、学校関係者、図書館など多岐にわたっており、知名度の向上と普及状況の認知に有効に機能している。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	1項記載の全項目の平成23年度継続実施
期間	平成23年4月～平成24年3月
具体的内容・効果	第1項記載内容に同じ
名称	CP部品採用者に対する公的な補助金制度の実施要請
期間	平成23年4月～
具体的内容・効果	現在エコロジーに関しては、自動車、太陽光発電等に対しては、国の施策として、個人の購入者に対して、補助金の支給が実施されており、CP部品に関しても同様の施策を適用を要望する。 これにより、生産量が増加し量産効果によるコストの低減に繋がり、普及が進むことが期待できる。また、不況の影響もあり認定数が減少している防犯優良マンションの普及にも繋がるものと考える。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	社団法人 建築業協会
----------	------------

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	CP部品活用のための報告、周知
期間	平成21年及び平成22年1月から10月まで（継続中）
具体的内容・効果	CP部品活用のため、設計専門部会関係者に、会議資料、情報提供された資料を報告し、周知を図った。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	CP部品活用のための報告、周知
期間	平成22年11月以降
具体的内容・効果	CP部品活用のため、設計専門部会関係者に、会議資料、情報提供された資料を報告し、周知を図る。

省庁名又は団体名	（社）住宅生産団体連合会
----------	--------------

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	住宅性能表示制度（防犯性能）の普及促進
期間	平成21年及び22年1月～10月
具体的内容・効果	・住宅性能表示制度と共に、「防犯性能」項目について、住宅生産業界に対して、構成10団体と共に普及促進活動を行った。 ・住生活月間中央イベントのブース出展等による住宅性能表示制度と共に、「防犯性能」項目について、普及促進活動を行った。
名称	ホームページからのリンク
期間	平成21年及び22年1月～10月
具体的内容・効果	・当連合会のホームページ上に「住まいる防犯110番」へのリンクをはり、会員及び広く一般の方へ広報活動・情報提供を行った。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	住宅性能表示制度（防犯性能）の普及促進
期間	平成22年11月以降（継続）
具体的内容・効果	・住宅性能表示制度と共に、「防犯性能」項目について、住宅生産業界に対して、構成10団体と共に普及促進活動を行う。
名称	ホームページからのリンク
期間	平成22年11月以降（継続）
具体的内容・効果	・当連合会のホームページ上に「住まいる防犯110番」へのリンクをはり、会員及び広く一般の方へ広報活動・情報提供を行う。

省庁名又は団体名	日本建築士会連合会
----------	-----------

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	PC部品の周知・普及
期間	継続中
具体的内容・効果	本会HP上での周知・普及、及びリンク

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	社団法人 日本建築家協会
----------	--------------

1 平成21年及び平成22年1月～10月に実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	官民合同会議のレポート
期間	平成21年7月
具体的内容・効果	① 当協会本部機関紙「JIA建築家」7月号において防犯性能の高い建築部品の開発・普及に関する官民合同会議と具体的な「CP認定部品」の普及・促進活動の報告を通して全国の会員に「CP認定部品」の重要性を広く伝えた。
名称	住宅性能表示制度普及促進講習会
期間	平成21年3月
具体的内容・効果	栃木県県土整備部住宅課からの依頼を受けJIA関東甲信越支部住宅部会庫川尚益により住宅性能表示制度普及促進の講習会をおこなった。その中で「CP認定部品」の重要性についても啓発した。
名称	市民向けセミナー
期間	平成21年1月～12月平成22年1月～10月（継続中）
具体的内容・効果	（社）日本建築家協会住宅部会の会員によってJIA館（渋谷区神宮）、リビングデザインセンターOZONE（新宿区西新宿）、INAX:GINZA（中央区京橋）に於いて市民向けセミナーを行なっております。各々の場所で毎月1回、計45回「家を建てる前に知っておきたい正しい知識」を市民の方に解説した。
名称	ホームページからのリンク
期間	平成22年4月～10月（継続中）
具体的内容・効果	■当協会は全国に会員がおります。本部のインターネット上のホームページから「防犯性能の高い建物部品目録」のサイトへウェブリンクし会員に周知、支部ホームページからも同様。 ■日本サッシ協会編集「防犯設計ハンドブック（戸建住宅編）」概要をホームページ上で会員に周知している。また、冊子を会員に配布した。
名称	アーキテツ・ガーデン2010建築祭
期間	平成22年10月27日～10月30日
具体的内容・効果	当協会のイベントの各会場において市民及び会員に「CP認定部品」の重要性を紹介する。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	市民向けセミナー
期間	平成22年11月～
具体的内容・効果	（社）日本建築家協会住宅部会の会員によってJIA館（渋谷区神宮）、リビングデザインセンターOZONE（新宿区西新宿）、INAX:GINZA（中央区京橋）に於いて市民向けセミナーを行なっております。年間36回「家を建てる前に知っておきたい正しい知識」を市民の方に解説する。

普及促進方策の推進状況

省庁名又は団体名	社団法人 日本損害保険協会
----------	---------------

1 平成21年及び平成22年1月から10月までに実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	家庭の防犯診断シートの作成・配布
期間	平成22年10月7日
具体的内容・効果	平成22年10月7日に、「盗難防止の日」の全国47都道府県の街頭活動において、CP部品を紹介した防犯診断シートを約9万セット配布した。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	ホームページ上での普及活動
期間	平成22年11月～継続実施
具体的内容・効果	CP部品の情報を記載している家庭の防犯診断シートを弊会ホームページに掲載している（ http://www.sonpo.or.jp/protection/bouhan/ ）。

省庁名又は団体名	社団法人 日本ドウ・イット・ユアセルフ協会
----------	-----------------------

1 平成21年及び平成22年1月～10月に実施した普及方策（現在継続中のものを含む。）

名称	防犯に関する講習会の実施
期間	平成21年2月10日
具体的内容・効果	“最近の防犯事情について”をテーマに、当協会認定資格であるDIYアドバイザー（DIYを行う方々に対し指導・相談を行う人）資格取得者を対象に講習会（講師は、当協会シニアアドバイザー）を実施し、CP部品についてPRを行った。
名称	JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2010
期間	平成22年8月26日～8月28日
具体的内容・効果	一般消費者の防犯意識の高まりの中、防犯についてはホームセンターとしてさらに取り組んでいかなくてはならないテーマであり、当協会としても今まで以上に普及啓発をすすめる必要がある。このため、5団体様にご協力をいただき、ショウのイベントコーナーに防犯リフォームコーナーを設置し、CP部品の展示、防犯ガラスの性能を体験できるコーナーを設置、来場者からは大変好評であった。

2 平成22年11月以降に実施（予定）又は実施すべき普及方策

名称	JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2011
期間	平成23年8月25日～8月27日
具体的内容・効果	一般消費者の防犯意識の高まりの中、防犯についてはホームセンターとしてさらに取り組んでいかなくてはならないテーマであり、当協会としても今まで以上に普及啓発をすすめる必要がある。本年イベントコーナーを設置し大変好評であり、可能であればイベントコーナーに防犯コーナーを設置し、CP部品の展示、体験コーナーなどを設け、一般消費者やホームセンターを中心としたバイヤーにPRしていきたい。
名称	防犯に関する講習会の実施
期間	平成22年度中
具体的内容・効果	一般消費者の防犯意識が高まっている中で、今後ホームセンターでのCP部品の扱いが増えることが考えられる。このため、一般消費者にDIYに関する商品の指導・相談を行うDIYアドバイザー資格取得者を対象にCP部品を中心とした防犯部品の講習会を行い、CP部品の知識を深め、ひいては一般消費者へのPRに繋げていきたい。

普及促進方策 集計一覧

項目	内容	H19	H20	H21	H22 (予定を含む)	H23 (予定を含む)	実施した省庁・団体	●:新規方策、○:継続方策	
ルール作り	5団体防犯建物部品普及促進協議会の定期開催	○	○	○	○	○	5団体		
	防犯用ウインドウフィルムの標準施工要領の作成	○					日本ウインドウ・フィルム工業会		
	BL認定部品(玄関ドア・玄関ドア用錠前)の防犯性能の必須化	○	○	○	○	○	ベターリビング		
	防犯型サッシ・面格子(防犯建物部品)をBL-bs部品として認定			○	○	○	ベターリビング		
	改修用玄関ドア・扉(錠前の防犯性能必須)をBL-bs部品として認定			○	○	○	ベターリビング		
	防犯型改修用サッシ(防犯建物部品)をBL-bs部品として認定			○	○	○	ベターリビング		
	住宅性能表示制度(防犯性能)の普及促進	○	○	○	○	○	国土交通省		
	住宅性能表示制度(防犯性能)の普及促進活動	○	○	○	○	○	住宅生産団体連合会		
	防犯優良マンション		○	○	○	○	ベターリビング、全防連、日防設		
	シヨールーム の整備	シヨールーム(展示場)の増強と説明要員の確保	○	○	○		日本シヤッター・ドア協会		
イベントや展示会	シヨールーム展示品の防犯建物部品へのCP表示の徹底	○					日本サッシ協会		
	神奈川県庁常設展示場への展示協賛(安全・安心まちづくりセンター)	○	○	○	○	○	5団体		
	神奈川県庁(安全・安心まちづくりセンター)における防犯機器に関する説明会)						5団体		
	SECURITY SHOW に出展	○	○	○	○	○	5団体		
	「地域防災防犯展」大阪に出展		○	○	○	○	5団体		
	JAPAN DIY HOMECENTER SHOW に出展	○	○	○	○	○	5団体		
	くらし創りメッセ大阪に出展	○	○	○	○	○	5団体		
	日本大学文理学部第4回特別展に出展	○					5団体		
	セキユリティ・安全管理総合展示場への展示協賛(ハウススクエア横浜)	○	○	○	○	○	5団体		
	板硝子フォーラム	○	○	○	○	○	板硝子協会		
イベントや展示会	日経住まいのリフォーラム 於東京ビックサイト	○	○	○	○	○	板硝子協会		
	日経建築・建材展 於東京ビックサイト	○	○	○	○	○	板硝子協会		
	DIYホームセンターショーに出展	○	○	○	○	○	板硝子協会		
	神奈川県「住まいの防犯展」に出展	○	○	○	○	○	日本ロック工業会		
	神奈川県「よこはま住宅フェア2007」に出展	○	○	○	○	○	日本ロック工業会		
	神奈川県横浜地区での防犯イベントでCP錠の展示・PR	○	○	○	○	○	日本ロック工業会		
	アーキテクト・ガーデンに於いて「CP認定部品」の普及・促進活動の周知						日本建築家協会		
	JAPAN DIY HOMECENTER SHOW	○	○	○	○	○	日本DIY協会		

普及促進方策 集計一覧

項目	内容	H19	H20	H21	H22 (予定含む)	H23 (予定含む)	●:新規方策、○:継続方策	
							実施した省庁・団体	
ポスター等の作成	防犯性能の高い建物部品普及促進ポスターの作成	○	○					警察庁
	防犯パンフレット「防犯建物部品のおすすめ」の製作、増刷		○	○				5団体
	5団体防犯性能DVDの作成、再編集		○	○				5団体
	シャッター・ドアの防犯性能DVDの作成及び活用		○					日本シャッター・ドア協会
	冊子等による積極的な広報活動の推進	○	○	○	○	○	○	全国防犯協会連合会
	構成団体の機関紙にCP部品普及の記事を掲載(全建連)	○						住宅生産団体連合会
	機関紙にCP部品普及の記事を掲載	○	○		○			全国警備業協会
	会報「防犯設備」の「シリーズ防犯住宅」の中で適宜掲載	○	○	○	○	○	○	日本防犯設備協会
	セキュリティガイド等でCP部品を紹介	○	○	○	○	○	○	日本防犯設備協会
	家庭の防犯診断シートを作成・配布				○			日本損害保険協会
	機関紙「JIA建築家」に於ける「CP認定部品」の普及・促進活動の周知				○			日本建築家協会
	本会誌「建築士」(発行部数10万)に防犯建物部品に関する記事の掲載	○	○	○	○	○	○	日本建築士会連合会
	防犯パンフレット「防犯建物部品のおすすめ」の神奈川住宅展示場への常備(2000部)		○	○	○	○	○	5団体
	防犯パンフレット「防犯建物部品のおすすめ」の日防設への提供		○	○	○	○	○	5団体
	防犯パンフレット「防犯建物部品のおすすめ」の防犯設備関連地域協会への配布		○	○	○	○	○	日本防犯設備協会
	防犯パンフレット「防犯建物部品のおすすめ」の構成10団体への配布							住宅生産団体連合会
住宅性能表示制度(防犯性能)のパンフレット配布	○						建築業協会	
「防犯設計ハンドブック」日本サッシ協会編集の配布					●		日本建築家協会	
CP部品普及促進ポスターの配布	○	○					建築業協会	
CP部品普及促進ポスターの配布	○	○					住宅生産団体連合会	
CP部品普及促進ポスターの配布	○	○	○				日本損害保険協会	
CP部品普及促進ポスターの配布	○	○	○	○	○	○	日本建築士会連合会	
CP部品普及促進ポスターの配布	○	○	○	○			日本建築士事務所協会連合会	
警察庁ホームページの改訂		○	○	○	○	○	警察庁	
防犯性能の高い建物部品データベース(DB)による情報提供		○	○	○	○	○	5団体	
ウェブサイト等への掲載等								

普及促進方策 集計一覧

●:新規方策、○:継続方策

項目	内容	H19	H20	H21	H22 (予定含む)	H23 (予定含む)	実施した省庁・団体
ウェブサイト等への掲載等	会員各社の防犯建物部品 ホームページの防犯表示の見直し	○		○	○	○	日本シャッター・ドア協会
	防犯建物部品目録・表示方法等の改善			○	○		日本シャッター・ドア協会
	会員各社の防犯建物部品 ホームページの防犯表示の見直し	○		○			日本サッシ協会
	協会会員各社の防犯建物部品 ホームページの防犯表示の見直し	○		○	○		日本サッシ協会
	連合会ホームページから「住まいる防犯110番」へのリンク設定				●	○	住宅生産団体連合会
	協会ホームページからのリンク				○	○	日本建築家協会
	目録掲載HPの適切な運用	○	○	○	○	○	全国防犯協会連合会
	防犯性能の高い住宅・建物部品情報データベースの更新(5団体)	○	○	○	○	○	ベタリービング
	CP部品含むホームセキュリティガイドを協会ホームページにアップ・継続掲載	○	○	○	○	○	日本防犯設備協会
	家庭の防犯診断シートを協会ホームページにアップ	○	○	○	○	○	日本損害保険協会
カタログ	本会ホームページによる広報	○	○	○	○		日本建築士会連合会
	防犯性能の高い建物部品目録の案内	○	○	○			日本建築士事務所協会連合会
	カタログ、パンフレットの改訂版作成	○	○	○	○	○	日本シャッター・ドア協会
	カタログ、パンフレット等の表現方法の統一			○			日本サッシ協会
	エンドユーザー向け防犯パンフレット「窓とドア」の防犯対策の作成と活用			○	○	○	日本サッシ協会
	警察大学校専科(建物防犯に関する知識・技能)の実施	○	○	○	○	○	警察庁
	警察大学校専科(建物防犯に関する知識・技能)の講師の派遣と校外研修への協力	○	○	○	○	○	5団体
	神奈川県警、栃木県警、新潟県警、福井県警専科講義	○	○	○	○	○	板硝子協会
	防犯用ウインドウフィルム施工技能者の資格者育成			○	○	○	日本ウインドウ・フィルム工業会
	全国ブロック会議を活用した防犯普及活動	○	○	○	○	○	日本サッシ協会
セミナー・講習会・学校教養等	住宅サッシ・防火戸取扱い事業所講習会での普及活動	○	○	○	○	○	日本サッシ協会
	警視庁防犯実務専科への協力	○	○	○	○	○	日本サッシ協会
	警察大学校専科等でセミナー実施	○	○	○	○	○	日本ロック工業会
	DIYアドバイザーに対するセミナー実施	○					日本ロック工業会
	CP部品の活用のための報告・周知	○	○	○	○	○	建築家協会
	警備員指導教育責任者講師講習会等の研修会で加盟員へ周知	○	○	○	○	○	全国警備業協会
	防犯設備士養成講習及び資格認定試験の中で実施	○	○	○	○	○	日本防犯設備協会
	住宅部会開催 一般市民向けセミナー(JIA市民住宅講座・OZONEセミナー・INAXセミナー)	○	○	○	○	○	日本建築家協会
	防犯に関する講習会を実施	○	○	○	○	○	日本DIY協会

普及促進方策 集計一覧

●:新規方策、○:継続方策

項目	内容	H19	H20	H21	H22 (予定を含む)	H23 (予定を含む)	実施した省庁・団体
	ハウスクエア横浜視察	○					5団体
	警察庁作成の政府広報CPポスターへの協賛	○	○				5団体
	施工業者(フィルム専門業者、ガラス関連業者、内装関連業者等)への推進		○	○	○	○	日本ウインドウ・フィルム工業会
	工業会 賛助団体(日本ガラスフィルム工業協会140社～全国8支部)への勉強会			○	○	○	日本ウインドウ・フィルム工業会
	会員会社内で防犯製品のキャンペーン実施	○					日本シャッター・ドア協会
	防犯建物部品のおすすめ(DVD)の配布(協会員)			○	○		日本シャッター・ドア協会
	「建築士事務所キャンペーン」ので広報	○	○	○			日本建築士事務所協会連合会
	建具の防犯性能DVDの活用	○	○				日本サッシ協会
	住宅サッシ・防火戸取扱い事業所向け会報を活用した普及活動			○	○	○	日本サッシ協会
	大手マンションデベロッパーへのアンケート実施	○					日本サッシ協会
	会員企業での外部セミナー、講習会などへの協力		○	○	○	○	日本サッシ協会
	防犯性能の高い建物部品使用状況調査		○	○	○	○	日本サッシ協会
	防犯建物部品の商品拡大	○	○	○	○	○	日本サッシ協会
	住宅展示場へのPR活動			○	○		日本サッシ協会
	防犯設計ハンドブックの作成と活用、アンケート実施			○	○	○	日本サッシ協会
	ロック工業会、ロックセキュリティ協同組合の共同によるWG設置(継続)		○	○	○	○	日本ロック工業会
	CP部品の取材協力、CPマークの使用相談等への対応と指導				○	○	全国防犯協会連合会
	防犯建物部品としての非常開放型面格子の開発(日本非常開放面格子協会)			○			ベターリビング
	書籍「防犯設備機器に関する統計調査」にCP部品を継続掲載	○	○	○	○	○	日本防犯設備協会
	会員着書「快適な生活をつくる間取りの決め方」にCP部品を掲載し周知				●		日本建築家協会

その他

平成22年上期「防犯性能の高い建物部品」出荷量及び普及率調査表

資料 4

年・項目	平成21年						平成22年						備考
	1月～12月			1月～6月			1月～6月			対前年比(1月～6月)			
	CP出荷量	総出荷量	CP/総出荷比	CP出荷量	総出荷量	CP/総出荷比	CP出荷量	総出荷量	CP/総出荷比	CP出荷量	総出荷量	CP/総出荷比	
(社)日本サッシ協会	360,977			156,460			195,514			125.0%			
ドアA種(玄関、アパート)	52,263	632,358	8.3%	21,266	299,028	7.1%	28,879	302,594	9.5%	135.8%	101.2%	2.4	
ガラスドア	6,810		-	3,073		-	3,331		-	108.4%			
上げ下げ内蔵ドア	18,291		-	7,817		-	10,081		-	129.0%			
引戸	350		-	100		-	195		-	195.0%			
ガラス引戸	0		-	0		-	0		-				
開き形式のサッシ	238,313		-	102,187		-	133,511		-	130.7%			
折りたたみ形式のサッシ	1,525		-	764		-	736		-	96.3%			
上げ下げ形式のサッシ	2,822		-	1,426		-	1,610		-	112.9%			
両戸	0		-	0		-	29		-				
面格子(一体枠、後付け)	19,877		-	8,841		-	8,482		-	95.9%			
窓シャッター	5,590		-	2,902		-	3,925		-	135.3%			
ビル用サッシ	15,136		-	8,084		-	4,735		-	58.6%			
※サッシ協会のドアA種の総出荷量は木造在来、2×4、プレハブの新設住宅着工件数を採用(ドア比率90%)													
(社)日本シャッター-ドア協会	55,381	4,604,337	1.2%	24,953	2,270,397	1.1%	20,277	1,982,222	1.0%	81.3%	87.3%	-0.1	
ドアB種	38,286	1,182,777	3.2%	16,709	600,892	2.8%	11,554	432,299	2.7%	69.1%	71.9%	-0.1	
窓シャッター	8,265	335,134	2.5%	4,129	163,740	2.5%	3,421	161,986	2.1%	82.9%	98.9%	-0.4	
軽量シャッター	5,926	1,978,504	0.3%	2,449	943,295	0.3%	3,628	934,087	0.4%	148.1%	99.0%	0.1	
重量シャッター	203	919,465	0.0%	127	467,014	0.0%	0	376,815	0.0%	0.0%	80.7%	0.0	
オーバーヘッドドア	2,531	188,457	1.3%	1,414	95,456	1.5%	1,606	77,035	2.1%	113.6%	80.7%	0.6	
シャッター用スイッチボックス	170		-	125		-	68		-	54.4%			
日本ロック工業会	134,566	5,539,518	2.4%	69,456	2,958,564	2.3%	43,288	2,979,609	1.5%	62.3%	100.7%	-0.9	
1ドア2ロック	0		-	0		-	0		-				
錠	116,506	3,598,801	3.2%	59,072	1,740,585	3.4%	37,970	1,718,266	2.2%	64.3%	98.7%	-1.2	
電気錠	1,266		-	39		-	123		-	315.4%			
シリンドア	1,925	1,753,879	0.1%	1,088	1,151,601	0.1%	835	1,233,032	0.1%	76.7%	107.1%	0.0	
サムターン	14,869	186,838	8.0%	9,257	66,378	13.9%	4,360	28,311	15.4%	47.1%	42.7%	1.5	
板硝子協会	1,612,000	32,415,700	5.0%	678,000	13,531,700	5.0%	765,000	15,734,000	4.9%	112.8%	116.3%	-0.1	
ガラス	1,612,000	32,415,700	5.0%	678,000	13,531,700	5.0%	765,000	15,734,000	4.9%	112.8%	116.3%	-0.1	
(内裁)新築住宅のガラス	1,481,000	32,415,700	4.6%	628,000	13,531,700	4.6%							
日本ウインドウ-フィルム工業会	278,000	8,400,000	3.3%	140,000	4,150,000	3.4%	133,000	4,150,000	3.2%	95.0%	100.0%	-0.2	
ウインドウフィルム	278,000	8,400,000	3.3%	140,000	4,150,000	3.4%	133,000	4,150,000	3.2%	95.0%	100.0%	-0.2	

CP面付本締錠の比率

項目	錠の種類 及び比率	平成20年度 (2008)					平成21年度 (2009)					平成22年度 (2010)				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
出荷数	指定建物錠	1,106,890	1,012,955	1,063,481	860,660	4,043,986	879,225	983,817	937,593	871,303	3,671,938	846,963	829,880			1,676,843
	CP錠	27,389	39,174	40,819	34,803	142,185	24,302	27,320	30,114	21,238	102,974	17,082	21,983			39,065
	面付本締錠*	44,632	33,546	30,789	25,308	134,275	29,279	24,870	30,857	27,435	112,441	25,186	23,379			48,565
	CP面付本締錠	5,946	8,959	5,785	3,025	23,715	3,311	4,322	5,126	2,653	15,412	2,653	3,422			6,075
	CP錠/ 指定建物錠	2.5%	3.9%	3.8%	4.0%	3.5%	2.8%	2.8%	3.2%	2.4%	2.8%	2.0%	2.7%			2.3%
比率	面付本締錠 /指定建物錠	4.0%	3.3%	2.9%	2.9%	3.3%	3.3%	2.5%	3.2%	3.1%	3.0%	2.8%			2.9%	
	CP面付本締錠 /CP錠	21.7%	22.9%	14.2%	8.7%	16.7%	13.6%	15.8%	17.0%	12.5%	15.0%	15.5%	15.6%		15.6%	
	CP面付本締錠 /面付本締錠	13.3%	26.7%	18.8%	12.0%	17.7%	11.3%	17.4%	16.6%	9.7%	13.7%	10.5%	10.5%		12.5%	

※ 面付本締錠とは、既築住宅のドアに取り付ける1ドア2ロック用の補助錠(指定建物錠)
 ※ 出荷数は、交換用部品(シリンドラー及びサムターン)を含まない。

BL部品認定証紙出荷枚数比較表

単位(枚)

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 (2010年9月30日現在)
サッシ 改修用サッシ	全体 (BL部品)	129,840	89,111	56,600	38,225	36,520	18,066
	CP (BL-bsの防犯)	0	0	0	250	1,140	0
	比率 (CP/全体)	0%	0%	0%	0.65%	3.1%	0.0%
玄関ドア 改修用玄関ドア	全体 (BL部品)	22,850	19,000	14,705	12,900	21,423	6,850
	CP (BL-bsの防犯)	550	0	2,016	950	5,800	2,000
	比率 (CP/全体)	2.4%	0%	13.7%	7.3%	27.0%	29.1%
玄関ドア用錠前 (指定建物錠)	全体 (BL部品)	83,600	91,700	73,100	80,430	18,500	12,680
	CP (BL-bsの防犯)	16,300	34,500	23,600	19,400	18,500	11,500
	比率 (CP/全体)	19%	37%	32%	24%	100%	91%
面格子	全体 (BL部品)	100	4,300	900	1,550	3,700	500
	CP (BL-bsの防犯)	0	0	0	0	0	0
	比率 (CP/全体)	0%	0%	0%	0%	0%	0%

BL部品は、主にUR都市機構や地方公共団体の集合住宅で使用される。

本データを会議等で使用される場合は、事前にBL担当者の許可を受けること。

BL部品は、品質、性能、アフターサービス等に優れた住宅部品。

BL部品のうち、次の①～⑤のような特長を有するものをBL-bsとして認定されている。

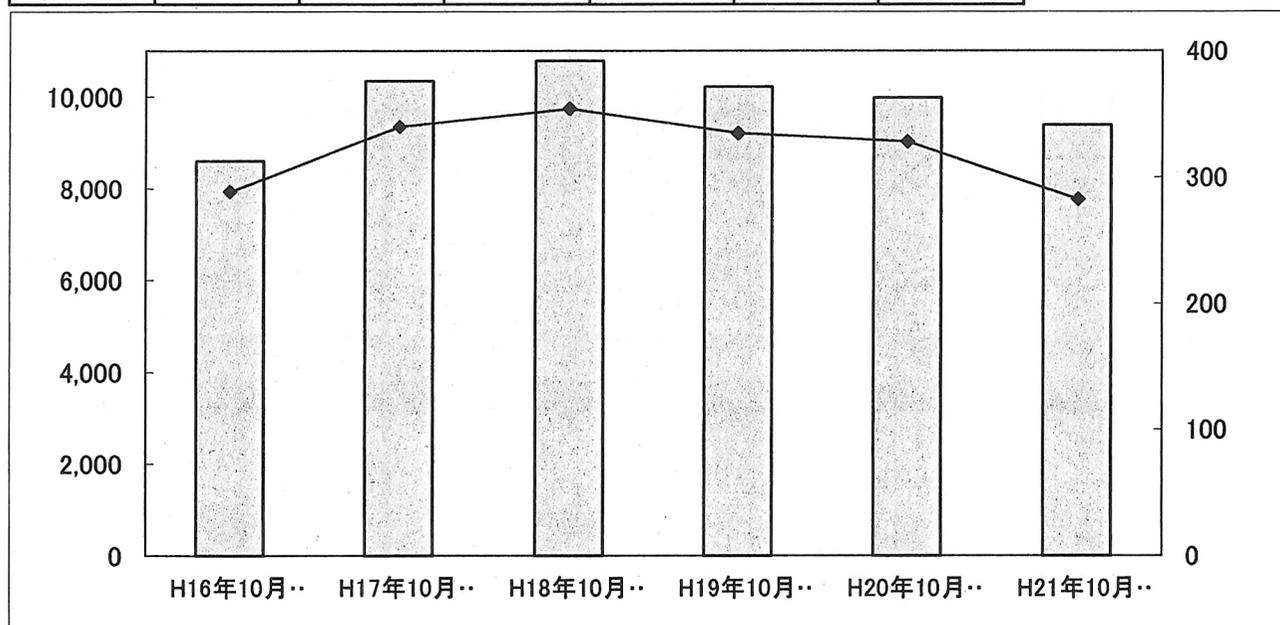
- ① 環境の保全に寄与する特長
- ② 社会の資産としての住宅ストックの形成・活用に寄与する特長
- ③ 高齢者・障害者を含む誰もが安全かつ快適な生活を送ることができる社会の実現に寄与する特長
- ④ 防犯性の向上に寄与する特長
- ⑤ その他より良い社会の実現に資する特長

「防犯性能の高い建物部品」目録 全防連ホームページアクセス記録

(16年度下期(運用開始)～22年度上期)

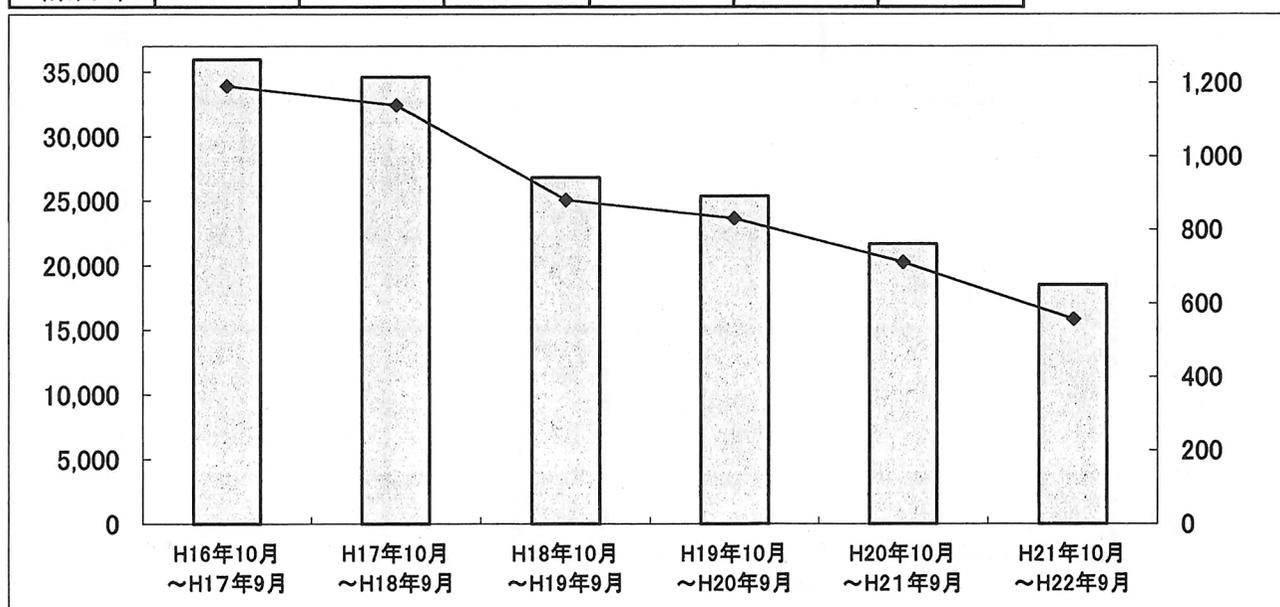
◎ トップページ訪問者

区分	H16年10月 ～H17年9月	H17年10月 ～H18年9月	H18年10月 ～H19年9月	H19年10月 ～H20年9月	H20年10月 ～H21年8月	H21年10月 ～H22年9月
1ヶ月平均 (系列2)	8,605	10,339	10,784	10,215	9,980	9,385
1日平均 (系列1)	289	340	355	335	328	283



◎ 製造会社各サイト(ページ)訪問数

区分	H16年10月 ～H17年9月	H17年10月 ～H18年9月	H18年10月 ～H19年9月	H19年10月 ～H20年9月	H20年10月 ～H21年9月	H21年10月 ～H22年9月
1ヶ月平均 (系列2)	35,975	34,610	26,789	25,346	21,649	18,505
1日平均 (系列1)	1,193	1,140	881	831	712	557



C P 部品目録データ等の改修について（全防連Webサイト）

平成16年4月から全国防犯協会連合会のホームページに「防犯性能の高い建物部品」（以下「目録表示」という。）として、防犯性能試験に合格した建物部品を目録表示に公表しているところである。平成22年9月末現在、17種類、4,031品目である。しかし、目録の公表から5年以上が経過し、会社名の変更、商品の販売終了など現実と異なるところが発生している。

このため、国民にも分かりやすい目録表示とするために、建物部品生産団体の協力を得て、次のとおりすべての建物部品の記載内容を見直すとともに、目録表示の掲載目録数の整理を行うこととした。（平成21年4月21日開催、第18回官民合同会議決定事項）

1 目録内容の確認・修正

- ・旧会社名及び販売終了の追加記載

会社名変更 ABC(株) → ABCDEF(株) (旧ABC(株))

販売終了 **#1 → **#1 (販売終了)

- ・形式、開き形式項目の追加（ドアB種、ガラスドア、上げ下げ内蔵ドア）
- ・各建物部品の解説の内容を更改
- ・最新版の目録掲載数を表示 等

2 目録の整理

同一商品名、同一構造・仕様のもものが複数掲載されている、又は一つの品目に複数の商品が記載されている品目について、会社名及び商品名を単位に集約又は分割し、目録の掲載を整理するとともに、整理した品目の合計数を目録掲載数に改めることとした。

3 修正・整理後の目録表示

目録表示のイメージ等を別紙1、2に示す。

4 実施時期

上記1及び2の作業が終了次第、すべての建物部品の目録表示を改める。

また、今後、目録への追加記載が発生した場合は、上記1及び2に準じて掲載するものとする。

目録の修正・整理の例示

- 上げ下げ内蔵ドア(ビル用)
(現状)

会社名	商品名/型番
三協立山アルミ(株) (旧 立山アルミニウム工業(株))	SRS-70P・EAT
三協立山アルミ(株) (旧 立山アルミニウム工業(株))	SRS-70P・EAT
三協立山アルミ(株) (旧 三協アルミニウム工業(株))	サンミツテ II 70
三協立山アルミ(株) (旧 立山アルミニウム工業(株))	サンミツテ II 70



(修正・整理後)

会社名	商品名/型番	開き形式の追加	
		片開き	個別申請品
三協立山アルミ(株) (旧 立山アルミニウム工業(株))	SRS-70P・EAT(販売終了)	○	
三協立山アルミ(株) (旧 三協アルミニウム工業(株))	サンミツテ II 70(販売終了)	○	
三協立山アルミ(株) (旧 立山アルミニウム工業(株))	サンミツテ II 70(販売終了)	○	

- ドア(A種)
(現状)

会社名	商品名/型番	片開き	親子開き	両開き
三協立山アルミ(株) (旧 立山アルミニウム工業(株))	KZD型	○		
三協立山アルミ(株) (旧 立山アルミニウム工業(株))	KZD型		○	



(整理後)

会社名	商品名/型番	片開き	親子開き	両開き
三協立山アルミ(株) (旧 立山アルミニウム工業(株))	KZD型	○	○	

- ドア(B種)
(現状)

会社名	商品名/型番	開閉形式	仕様	主錠	補助錠
文化シャッター(株)	PDR-BA/PBR-BA	片開き	t=0.6	標準	



型式の追加

(整理後)

会社名	型式	商品名/型番	開閉形式	仕様	主錠	補助錠
文化シャッター(株)	DB7改修	PDR-BA	片開き	軽量 t=0.6	錠	
文化シャッター(株)	DB7改修	PBR-BA	片開き	軽量 t=0.6	錠	

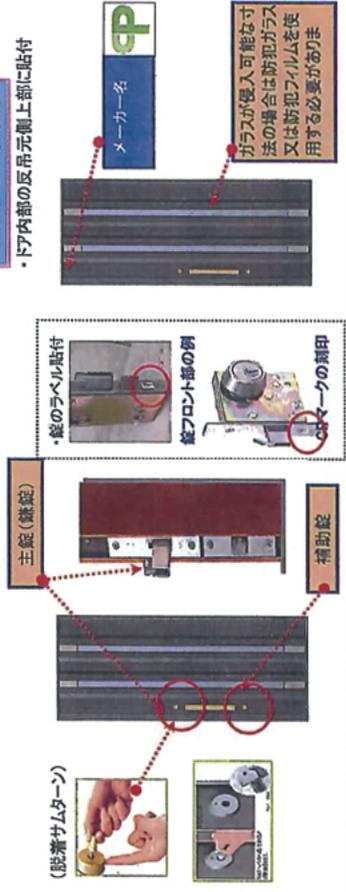


ドア(A種)(低層住宅用)

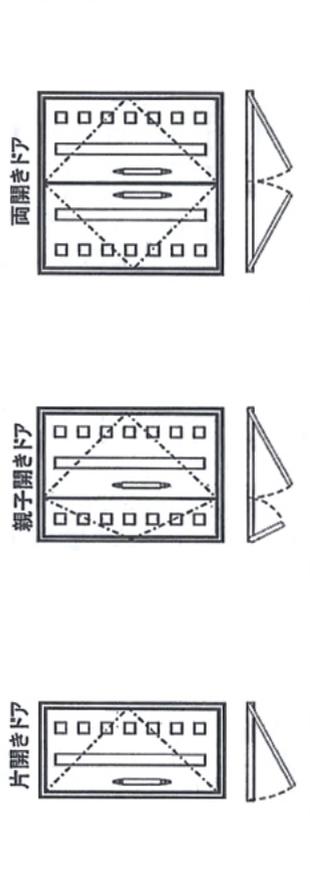
主として3階建て以下の木造住宅及び工業化住宅(プレハブなど)の玄関出入口として使用されています。アルミニウム製、スチール製、木製などがあり、バリエーションとして片開き、親子開き、両開きがあります。

ドアA種の概要

- 主錠(CP錠)と補助錠の2点以上拘束。



ドアA種のバリエーション



【抵抗時間】

侵入者がヒッキンやドア錠のこじ破りなどの行為を開始してから建物内部に侵入が可能になるまでの時間を「抵抗時間」と呼び、各商品ごとに定められた試験を行い、抵抗時間が5分間以上であることを確認されたものが「防犯性能の高い建物部品」(CP製品)として目録公表されています。

※ご注意

CP製品は、客観的に評価された防犯性能を有する製品ですが、侵入を完全に防ぐものではありません。従って、侵入犯罪による物品の損害も同様に損害賠償の対象とはなりません。

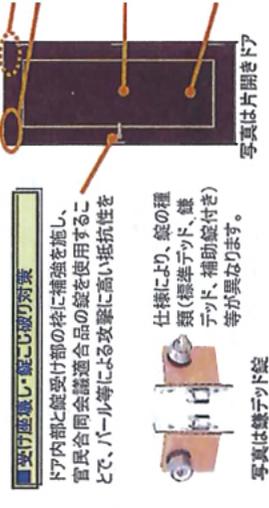


ドアB種

主として中高層建物(ビル、マンション等)の出入口に使用されるスチール製、ステンレス製または木製のドアです。開き方式はスイングタイプ(開き戸)のみで、片開き、親子(両)開き、袖FIX片開き等があります。

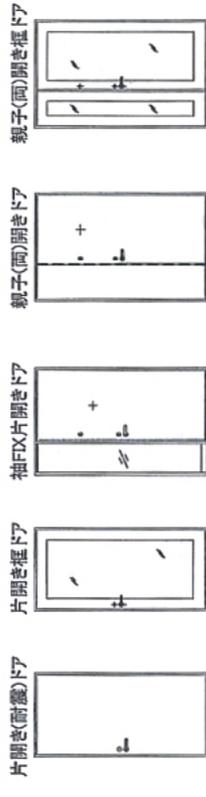
ドアB種の概要

- 主として中高層建物(ビル、マンション等)の出入口に使用されるドア
- 仕様により、防犯補強(錠・棒補強)が異なります



ドア(B種)の開口バリエーション

ドアB種には下記の開口バリエーションが含まれます。



【付帯条件】

主錠及び補助錠については目録登載の製品であって、「標準」とあるものは「標準テッドボルト」を、「鐵」とあるものは「鐵付テッドボルト」をそれぞれ示しています。ただし、標準テッドボルト錠に代えて鐵付テッドボルト錠を使用すること及び補助錠を追加することはできません。

ガラスについては目録登載の製品を備える必要があります(ただし、ガラスはめ込み部の面積が一定以下であるなど所定の条件を確保できる仕様についてはこの限りではありません)。

【抵抗時間】

侵入者が面材破断やドアこじ破りなどの行為を開始してから建物内部に侵入が可能になるまでの時間を「抵抗時間」と呼び、各商品ごとに定められた試験を行い、抵抗時間が5分間以上であることを確認されたものが「防犯性能の高い建物部品」(CP製品)として目録公表されています。

※ご注意

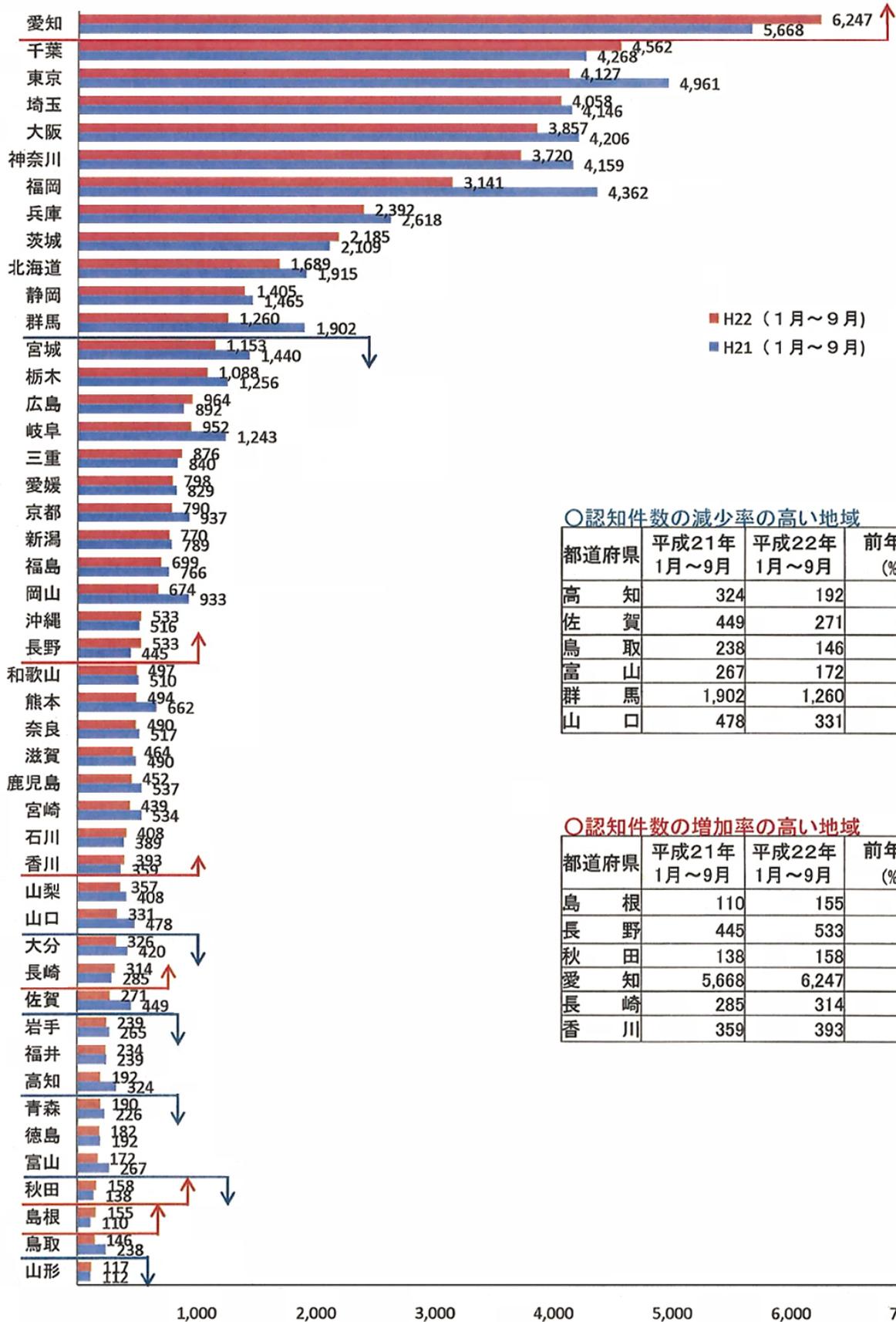
CP製品は、客観的に評価された防犯性能を有する製品ですが、侵入を完全に防ぐものではありません。従って、侵入犯罪による物品の損害も同様に損害賠償の対象とはなりません。

C P 普及促進方策 W G の実施状況について

サブグループ	部品生産団体 S G	建物販売・施工団体 S G	建物設計団体 S G
団体名	板硝子協会、日本カウド・フイル工業会、日本サウワード7協会、日本サッシ協会、日本ロック工業会	住宅生産団体連合会 建築業協会	日本建築家協会 日本建築士会連合会 日本建築士事務所協会連合会
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ C P 制度の認知度向上 ・ 採用に至らない要因分析 ・ 各サブグループでの C P 部品の採用状況の把握 ・ C P 部品を採用するにあたっての課題の抽出 		
内容	<p>【住宅生産団体連合会】 昨年9月に、法人会員（住宅生産企業）に対してアンケート回答依頼を行い、C P 部品採用状況を把握した。（アンケート結果は昨年報告） アンケートから法人会員からの要望を業約し、本年1月と10月に5団体普及促進協議会にオブザーバーとして参加し、普及促進のための意見交換を実施した。 また、防犯性能の表示が必須となっている「性能表示制度」の普及促進を目的に、本年10月7日～9日に名古屋にて開催された『住生活月間中央イベント スーパーハウジングフェア in あいち』にて「性能表示制度」のブースを設け、セミナーも併せて開催した。</p>	<p>1. 部品生産団体サブグループWGに参加して意見交換をおこなった。 日本建築家協会関東甲信越支部住宅部会内のアンケートからCPマークの部品採用の阻害要因として超概算コストの比較がイメージできていない事がわかった。これを解消するため、最近の一般的小住宅をモデルケースとしてCPマークの部品を活用した場合の設計単価でのコスト比較をするよう検討している。 具体的な事例として2案件：1. 都市型住宅密集地 2. 郊外型の標準となるようなプランを作成し、CP部品に係る各団体と協力してコストの比較をすることとし作業中である。</p>	

○侵入盗(住宅対象)認知件数(都道府県別)

資料10



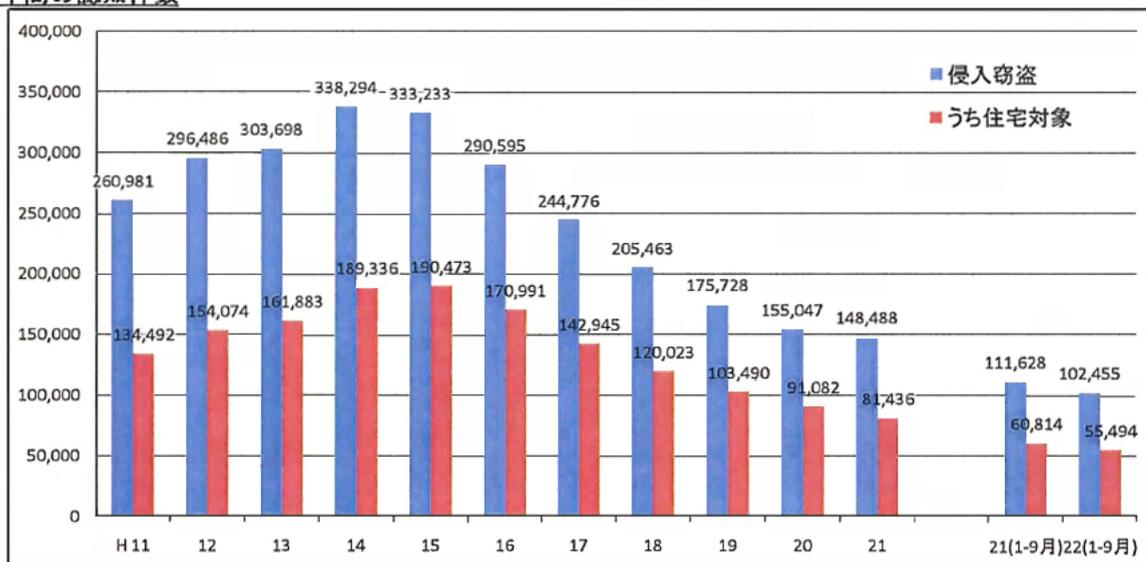
○認知件数の減少率の高い地域

都道府県	平成21年 1月～9月	平成22年 1月～9月	前年比 (%)
高知	324	192	-40.7
佐賀	449	271	-39.6
鳥取	238	146	-38.7
富山	267	172	-35.6
群馬	1,902	1,260	-33.8
山口	478	331	-30.8

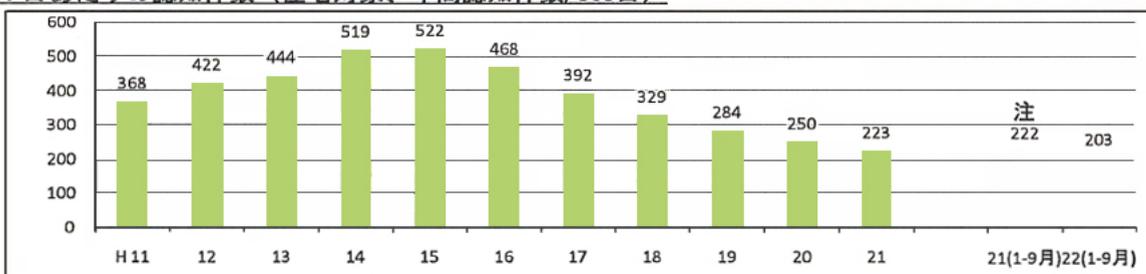
○認知件数の増加率の高い地域

都道府県	平成21年 1月～9月	平成22年 1月～9月	前年比 (%)
島根	110	155	40.9
長野	445	533	19.8
秋田	138	158	14.5
愛知	5,668	6,247	10.2
長崎	285	314	10.2
香川	359	393	9.5

○年間の認知件数



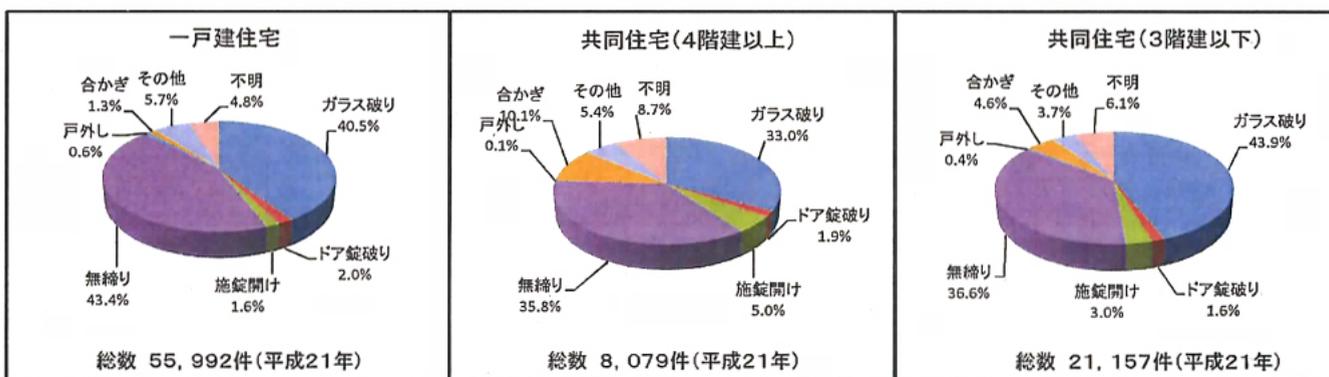
○1日あたりの認知件数 (住宅対象、年間認知件数/365日)



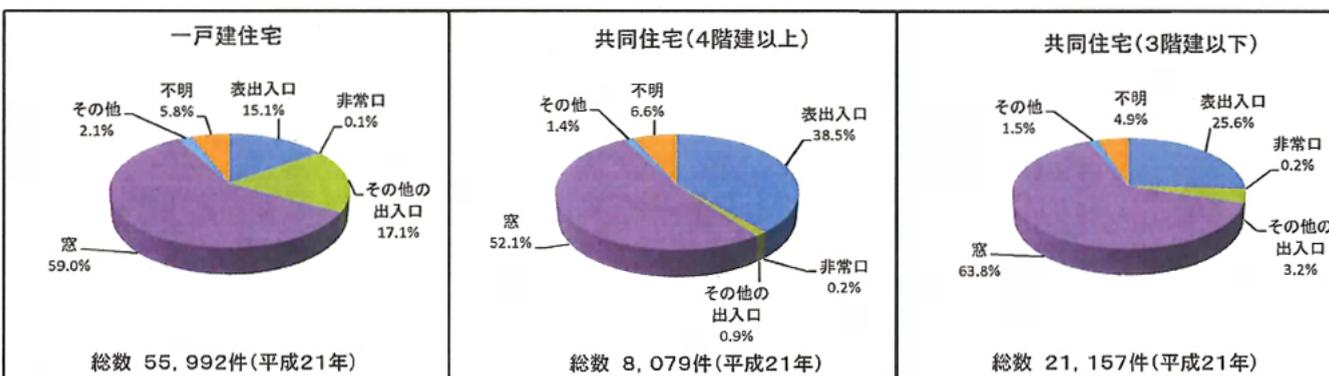
注
H21・H22(1-9月)
の数値は、1年間に換算した数値である。

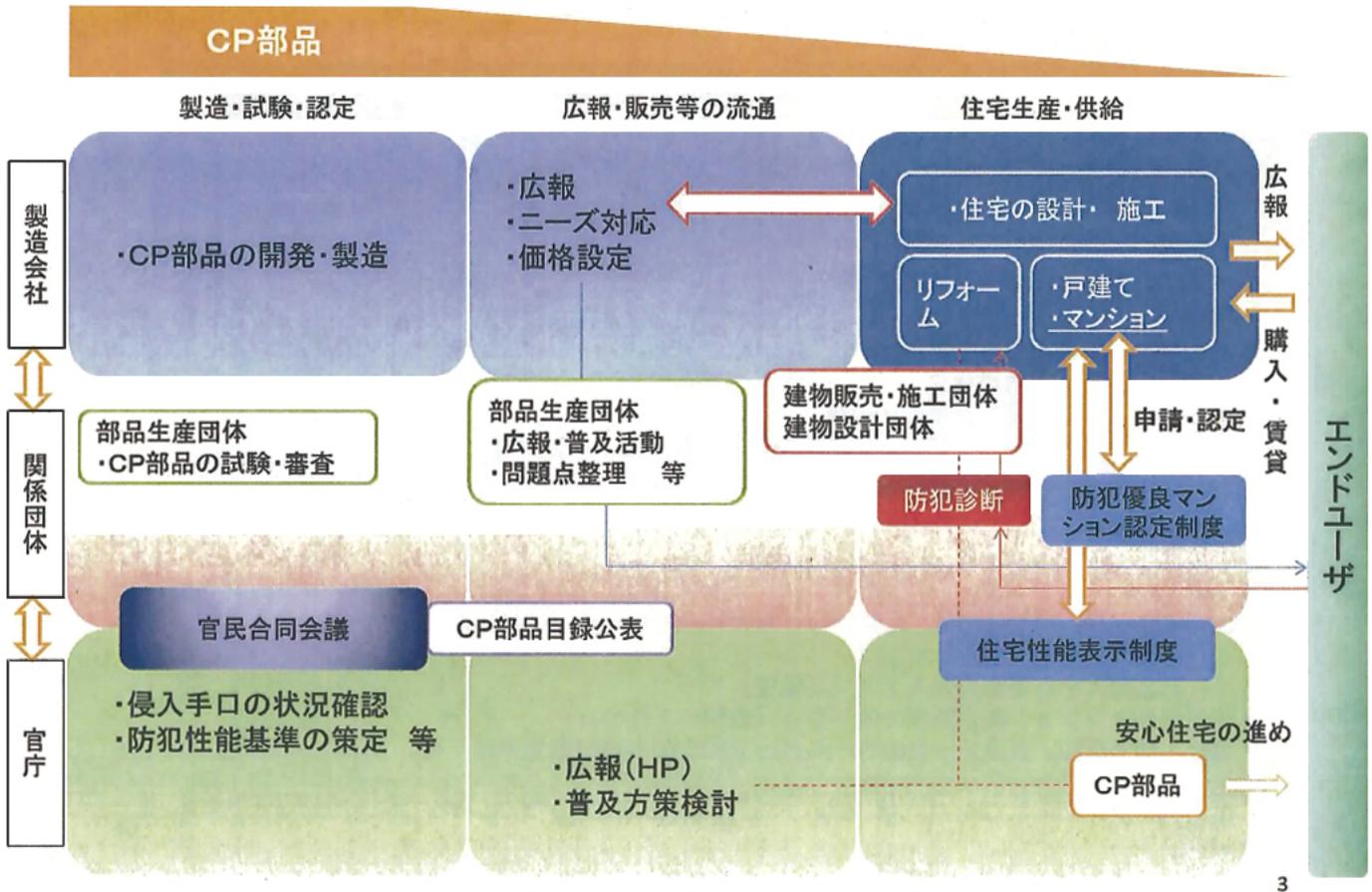
(参考)侵入窃盗の認知件数の推移

○侵入手段



○侵入口





3

○普及方策の検討(案)

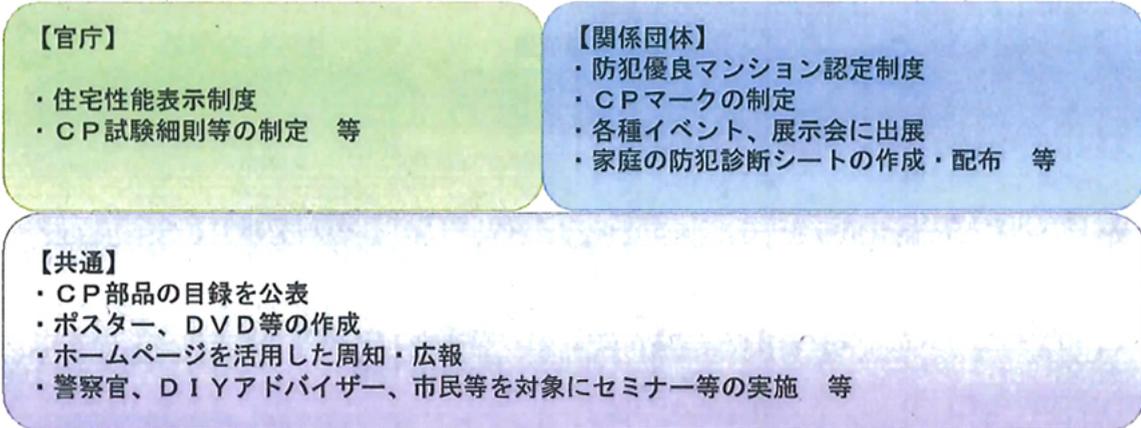
(検討案)

- ★ 目標の設定
 - ← (警察) 住宅を対象とした侵入窃盗の手口別認知件数低減の目標値設定等 (1日当たりの認知件数をアンダー200件、参考資料参照)
- ★ エンドユーザのCP部品の認知度向上
 - ← 警察、関係団体、防犯アドバイザー(防犯設備士等)の活動の活性化、地域防犯ボランティア団体等への説明会、CPマークのデザイン等
- ★ 新築住宅及びリフォーム住宅への普及促進
 - ← 現行の住宅減税、リフォーム減税(耐震、バリアフリー、省エネ)を活用した方策等
- ★ CP部品の低廉化
 - ← 犯罪情勢に応じた試験細則の見直し、新たな考え方の導入、コスト削減のための見直し 等
- ★ 防犯優良マンション認定制度の充実
 - ← マンション以外の戸建て、賃貸住宅への拡充 (参考)初の設計段階審査適合物件(三洋ホームズ、名古屋)
- ★ CP部品を身近に接する場の提供
 - ← ホームセンター等の活用(展示から施工まで)、DIYアドバイザー等からの指導等
- ★ その他

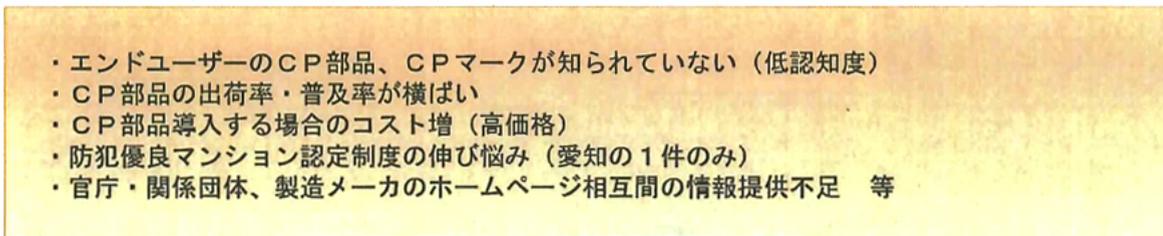
H22.7.24受付開始後8.11完売(インターネット情報)(スピード完売の理由)

- 1)立地(名古屋まで地下鉄で12分、駅まで4分)
- 2)商品(エコポイント対象住宅等)
- 3)防犯優良マンション(販売店コメント)

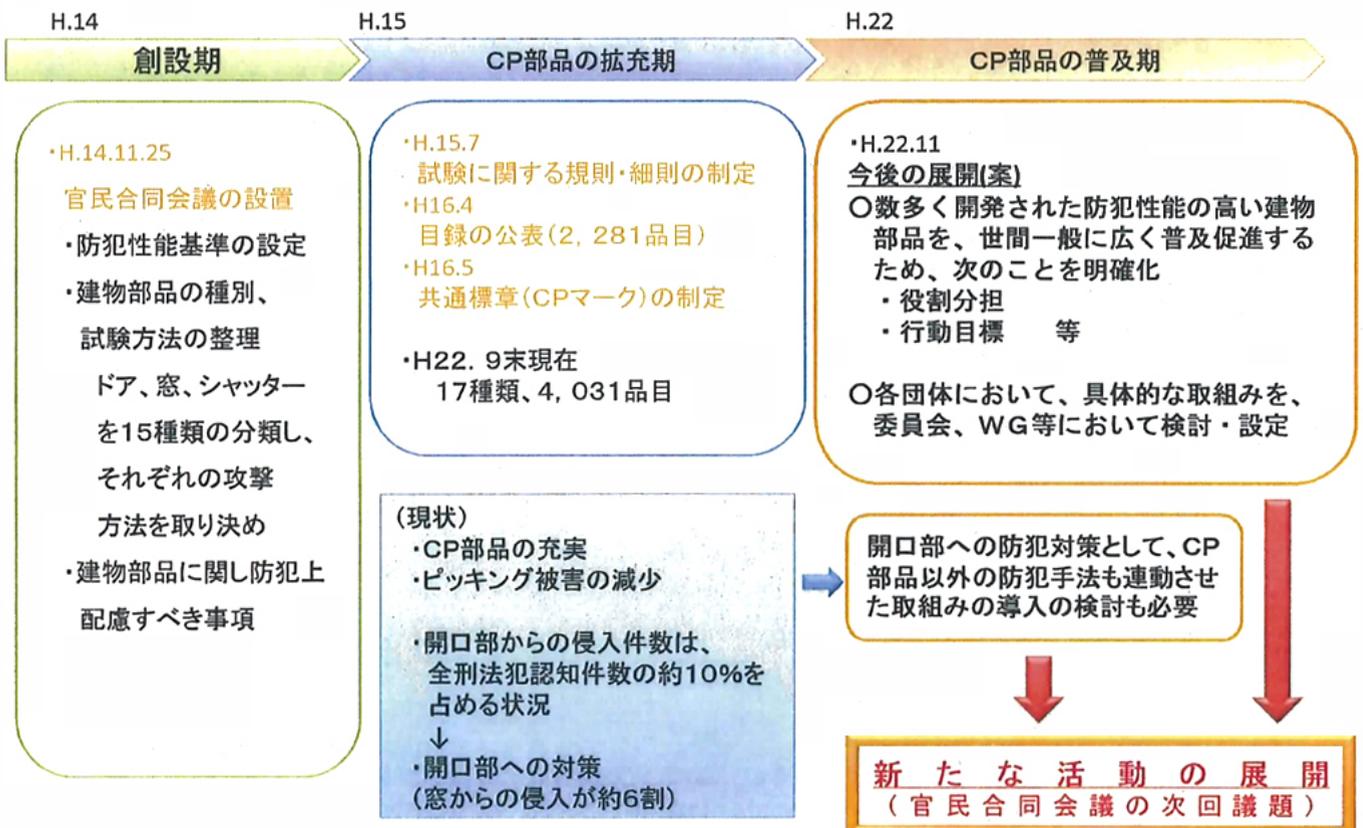
○これまでの主な取組み



○現状と問題点



○官民合同会議の取組み



住宅における犯罪の実態状況
(平成25年)

■住宅内の侵入者の発生状況



住宅における犯罪発生
約1/4は悪質アパート

■悪質アパートに上乗せする
2つのポイント

- ① 見込みが悪く、悪質が多い
- ② 侵入の仕方が容易(盗難の発生)

1 玄関ドアの防犯対策

- ◎主眼にGMV
- ◎補助錠の位置
- ◎カメラモニター付インターホンの設置 (※盗難防止)
- ◎ドアコープの設置
- ◎扉を打ち込まないよう注意

防犯ドア

ご入居への際、必ず確認してください
玄関ドアの構造面でも防犯
カメラモニター付インターホンが
設置されている場合は、必ず
カメラモニターが正常に動作
していることを確認してください。
また、ドアの構造面でも防犯
カメラモニターが正常に動作
していることを確認してください。

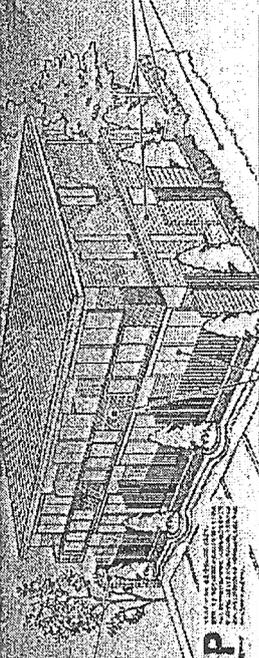
防犯アラート

盗難防止
カメラモニター付インターホン
カメラモニター付インターホン
カメラモニター付インターホン

カメラモニター付インターホン

カメラモニター付インターホン
カメラモニター付インターホン
カメラモニター付インターホン

大規模な侵入の未然防止。
不審な入りは入居者を知らせるお知らせ機能。
さらに万一侵入された場合は防犯カメラの映像をリアルタイムで
スマートフォンで確認可能。



2

高窓・1,2階窓の防犯対策

- ◎防犯ガラスの設置
- ◎ログ付カメラの設置
- ◎窓枠の強度(防犯ガラス)
- ◎窓枠の強度(防犯ガラス)
- ◎窓枠の強度(防犯ガラス)
- ◎窓枠の強度(防犯ガラス)

防犯窓

高窓・1,2階窓の防犯対策
高窓・1,2階窓の防犯対策
高窓・1,2階窓の防犯対策

3 アパート周りの防犯対策

- ◎防犯アラートの設置
- ◎センサーライト及びカメラの設置
- ◎オートロック門扉システムの設置
- ◎オートロックシステムの設置

防犯カメラ、センサー

防犯カメラ、センサー
防犯カメラ、センサー
防犯カメラ、センサー

4

万一、侵入されたら (室内防犯システム)

- ◎防犯アラートの設置
- ◎防犯アラートの設置
- ◎防犯アラートの設置
- ◎防犯アラートの設置

万一、侵入されたら (室内防犯システム)
万一、侵入されたら (室内防犯システム)
万一、侵入されたら (室内防犯システム)

※この冊子は、国土交通省が作成した「防犯対策ガイド」に基づいて作成されています。詳しくは、国土交通省のウェブサイトをご覧ください。

